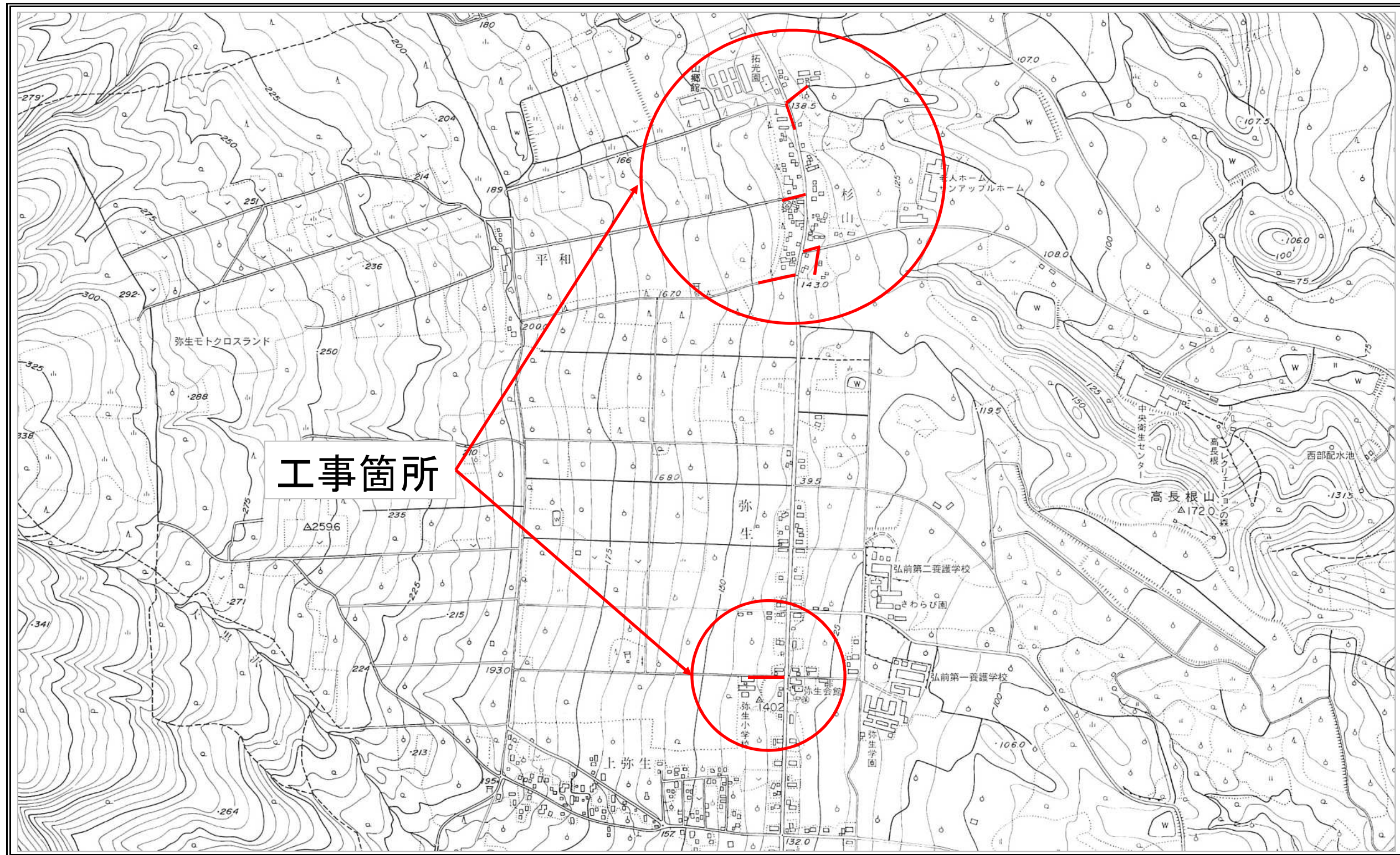


位置図

S=1:10,000

工事名:平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事

弘前市



年度	平成30年度		
工事番号	平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 西沢字東岩木山 地内		
図面名称	平面図・縦断面		
縮尺	各国記入	図面番号	10葉の内1
弘前市上下水道部			

幹線1号・支線1号

位置図 S=1:20,000



凡 例	
管線工 (φ150mm)	←
管線工 (φ200mm)	←
管線工 (φ250mm)	←
管線工 (φ300mm)	←
管線工 (φ350mm)	←
管線工 (圧送管)	←→
マンホール工 (小型)	⊗
マンホール工 (1号)	○
マンホールポンプ工	⊗
新管工	→
宅地用汚水排水工	○
一般車用汚水排水工	⊗
水道管	---
N T T	---
敷付管工	汚水排水 取付延長

基準点標高一覧表

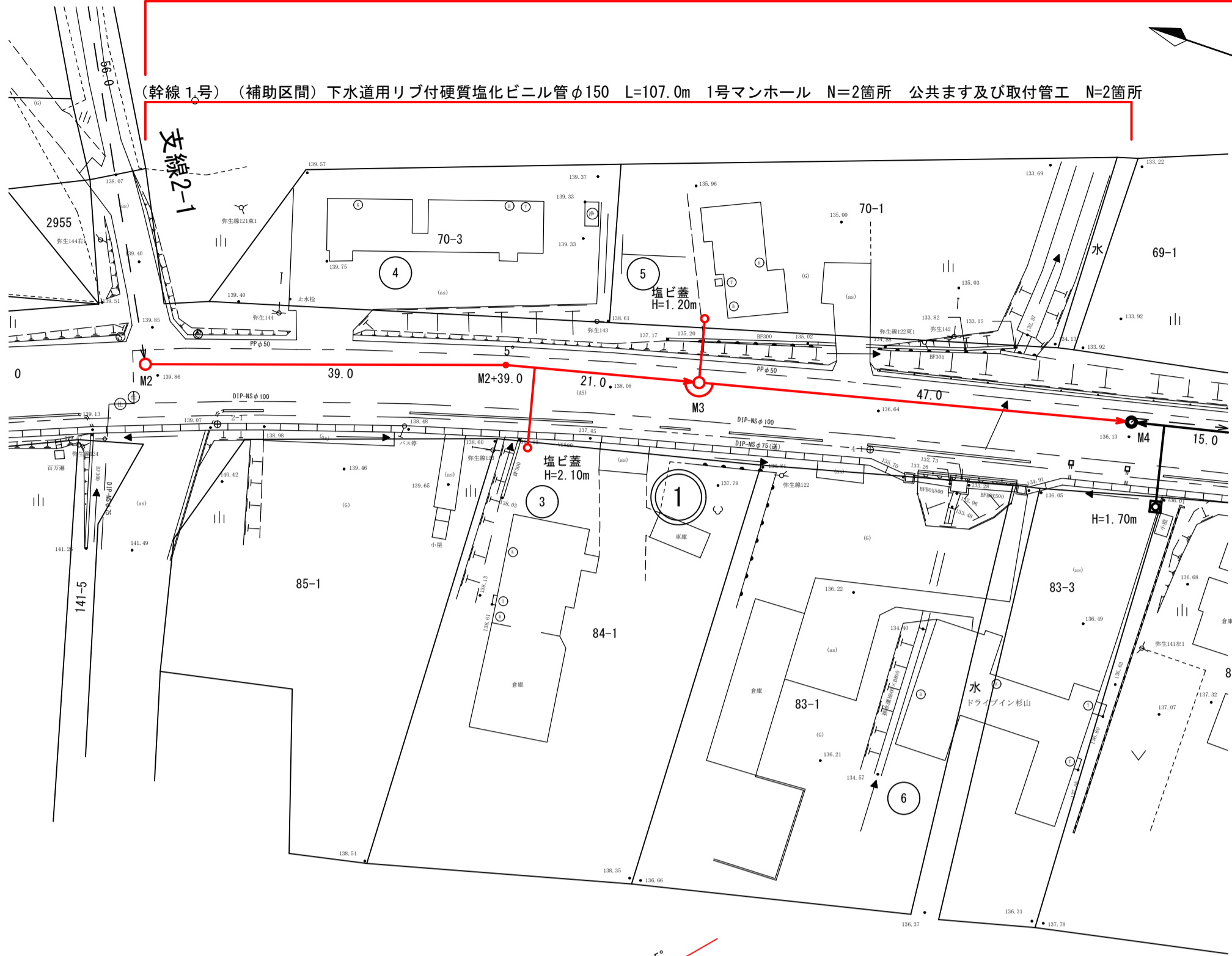
点名	標高値(m)
2-1	139.722
4-1	136.576



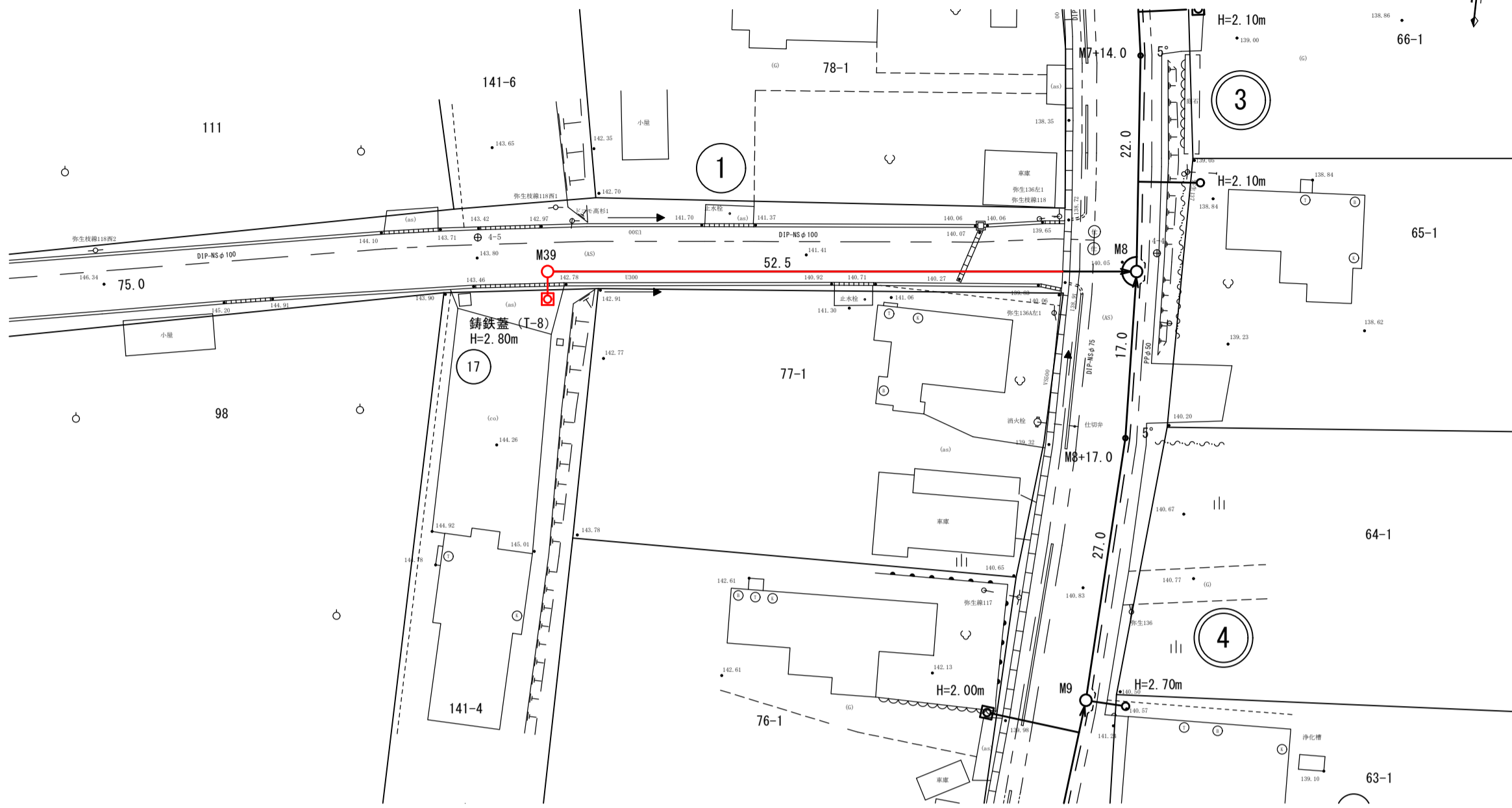
路線番号	幹線1号(補助区間)			
管種	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管			
管径	φ150mm			
計画勾配	L=60.0m 40.0‰			
地盤高	139.91	138.78	137.55	136.17
土層?	1.40 2.23		2.23 3.23	1.99
圧送管	138.450			
埋設深	1.56 2.40		2.40 3.40	2.16
管底高	137.520		135.156 134.156	134.019
距離	0.00	39.00	60.00	107.00
累計	0.00	39.00	21.00	47.00
測点	M2	M2+39.0	M3	M4

(工事全体) 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管φ150 L=416.9m 下水道用ポリエチレン管φ50 L=106.0m 1号マンホール N=11箇所 公共ます及び取付管工 N=7箇所

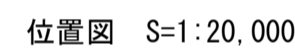
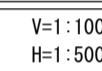
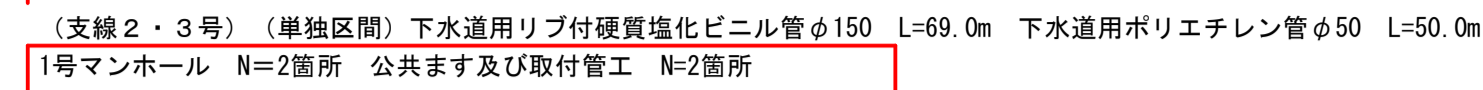
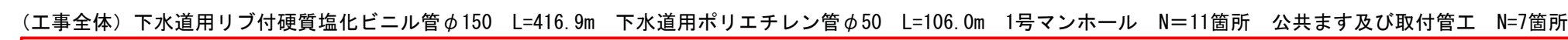
(幹線1号)(補助区間) 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管φ150 L=107.0m 1号マンホール N=2箇所 公共ます及び取付管工 N=2箇所



(支線1号)(単独区間) 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管φ150 L=52.5m 1号マンホール N=1箇所 公共ます及び取付管工 N=1箇所



路線番号	支線1号(単独区間)			
管種	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管			
管径	φ150mm			
計画勾配	L=74.0m 40.0‰			
地盤高	143.72	138.40	140.11	
土層?	3.34	1.10	2.10	
圧送管				
埋設深	3.51	1.27	2.27	
管底高	140.213	138.131	137.849	
距離	0.00	52.50	7.50	
累計	0.00	52.50	60.00	
測点	M39	M39+52.5	M8	

支線2号・支線3号

凡 例	
管路上 (φ150mm)	←
管路上 (φ250mm)	
管路上 (φ350mm)	
管路上 (φ300mm)	
管路上 (φ350mm)	
取付管(1号)	←+—
マンホール工 (小)	(X)
マンホール工 (1号)	○
マンホールポンプ工	
調査工	
一般排水汚水排水工	○
電線専用汚水排水工	
水道工	
N・T	— — —
取付管工	汚水側取付延長

点名	標高値(m)
3-2	137.112
4-8	140.914

経緯番号	管種	管径	計画5配	管種	管径	計画5配
	支線 2 号 (車線区間)	下水適用リブ付硬質塩化ビニル管	φ150mm L=99.0m 3.0%	支線 3 号 (車線区間)	下水適用ポリエチレン管	φ80mm L=55.0m
139.83	140.29	139.63	139.60	143.34	143.49	
3.01		2.90	2.88	1.53	1.35	
		1.19	138.343			
3.18		3.07	3.05	1.59	1.51	
		1.26				
136.757		136.567	136.553			
0.00	45.00	63.80	69.00	119.00	124.00	
0.00	45.00	18.80	5.20	50.00	5.00	
IM40	IM40+45.0	IM40+63.80	IM41	IM41+50.0	IM41	

年度	平成 3 0 年 度		
工事番号	平成 3 0 年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 西沢字東岩木山 地内		
図面名称	平面図・縦断面		
縮尺	各図記入	図面番号	10葉の内3
弘前市上下水道部			

支線2-1号・支線12-1号

位置図 S=1:20,000



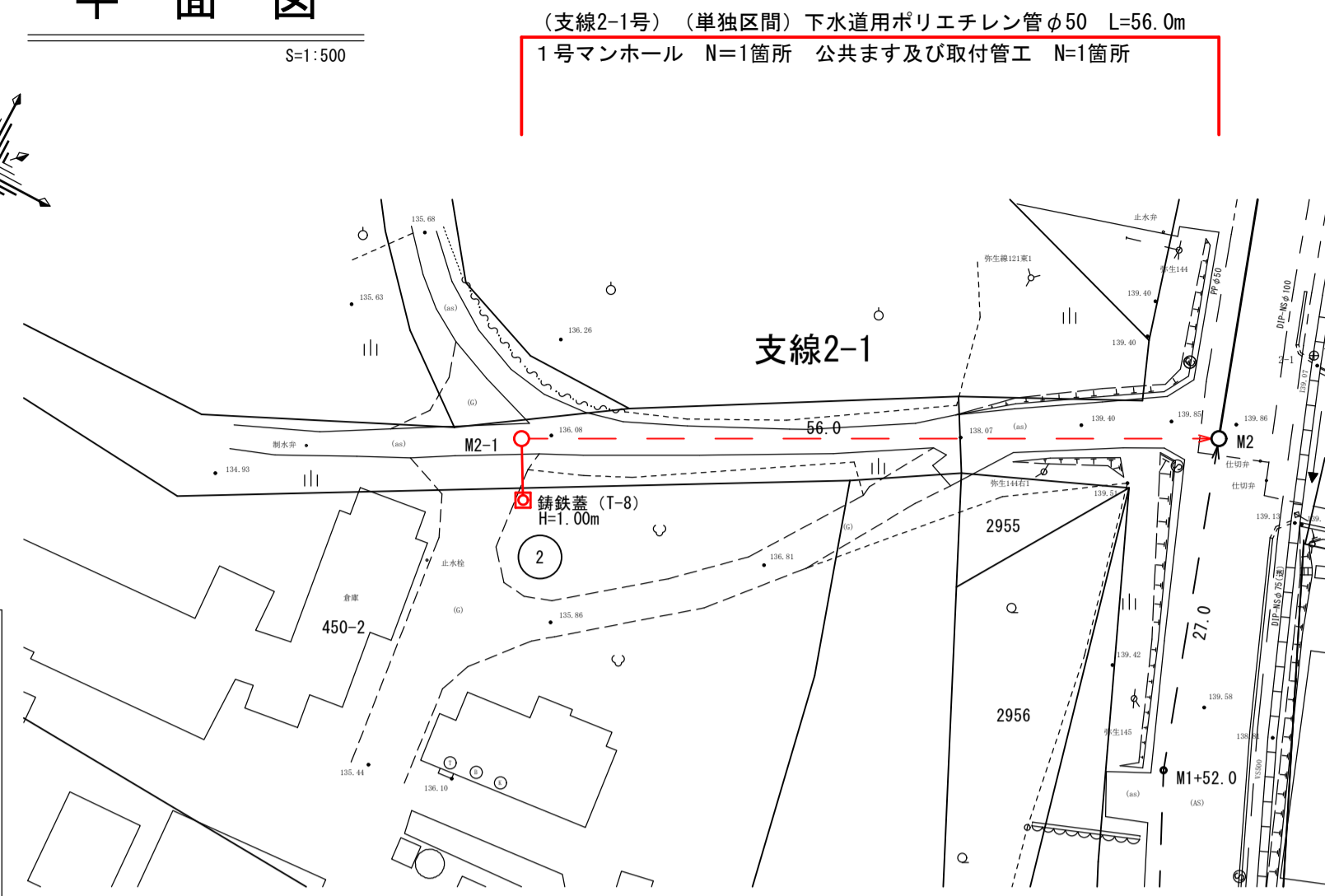
凡 例	
管線工 (φ 1 5 0 mm)	←
管線工 (φ 2 0 0 mm)	←
管線工 (φ 2 5 0 mm)	←
管線工 (φ 3 0 0 mm)	←
管線工 (φ 3 5 0 mm)	←
管線工 (圧送管)	←→
マンホール工 (0号)	⊗
マンホール工 (1号)	○
マンホールポンプ工	⊙
新管工	→
宅地用汚水排水工	○
一般車用汚水排水工	⊗
水道管	---
N T T	---
敷付管工	汚水排水 取付延長

基準点標高一覧表

点名	標高値(m)
2-1	139.722

平面図

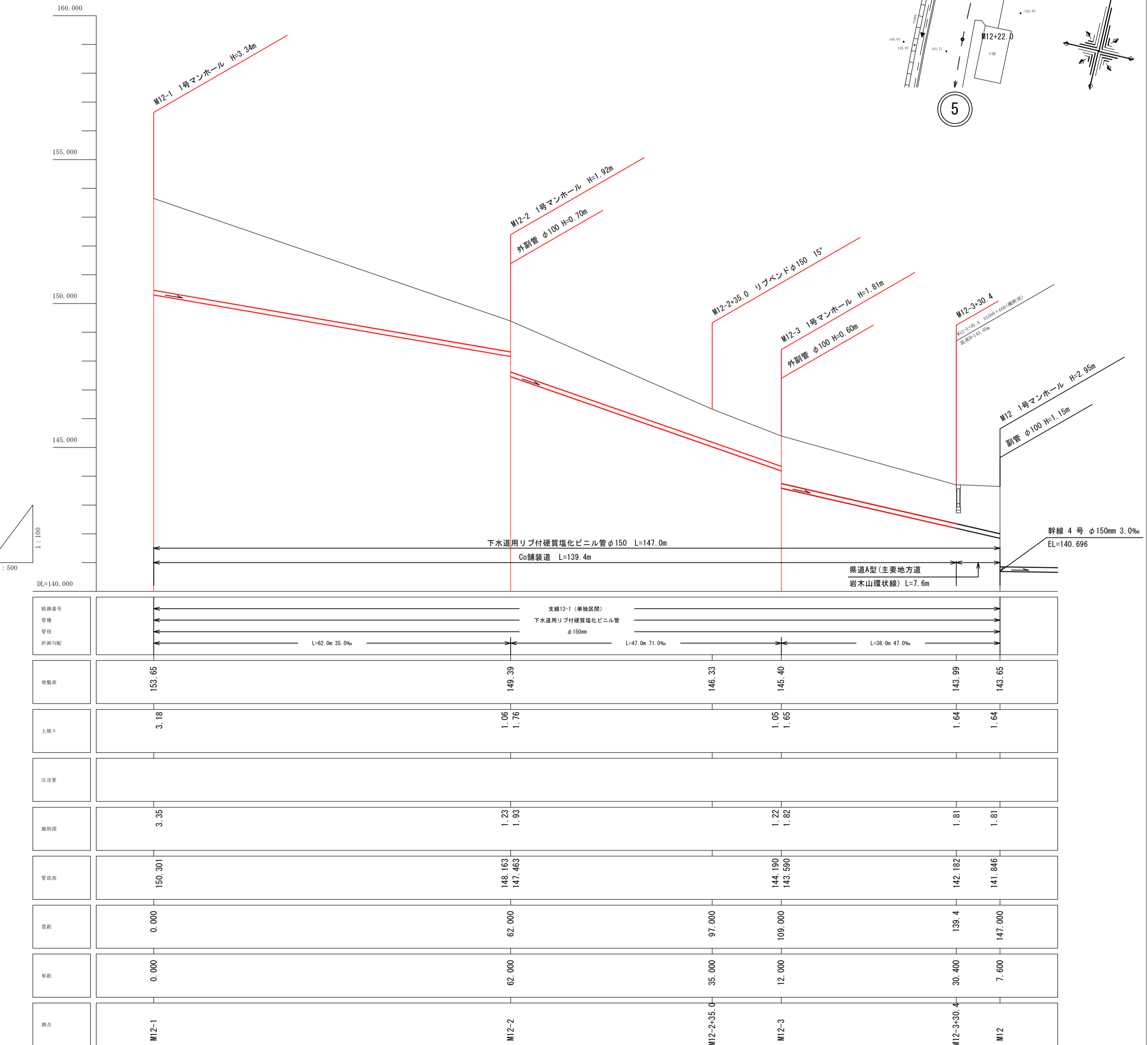
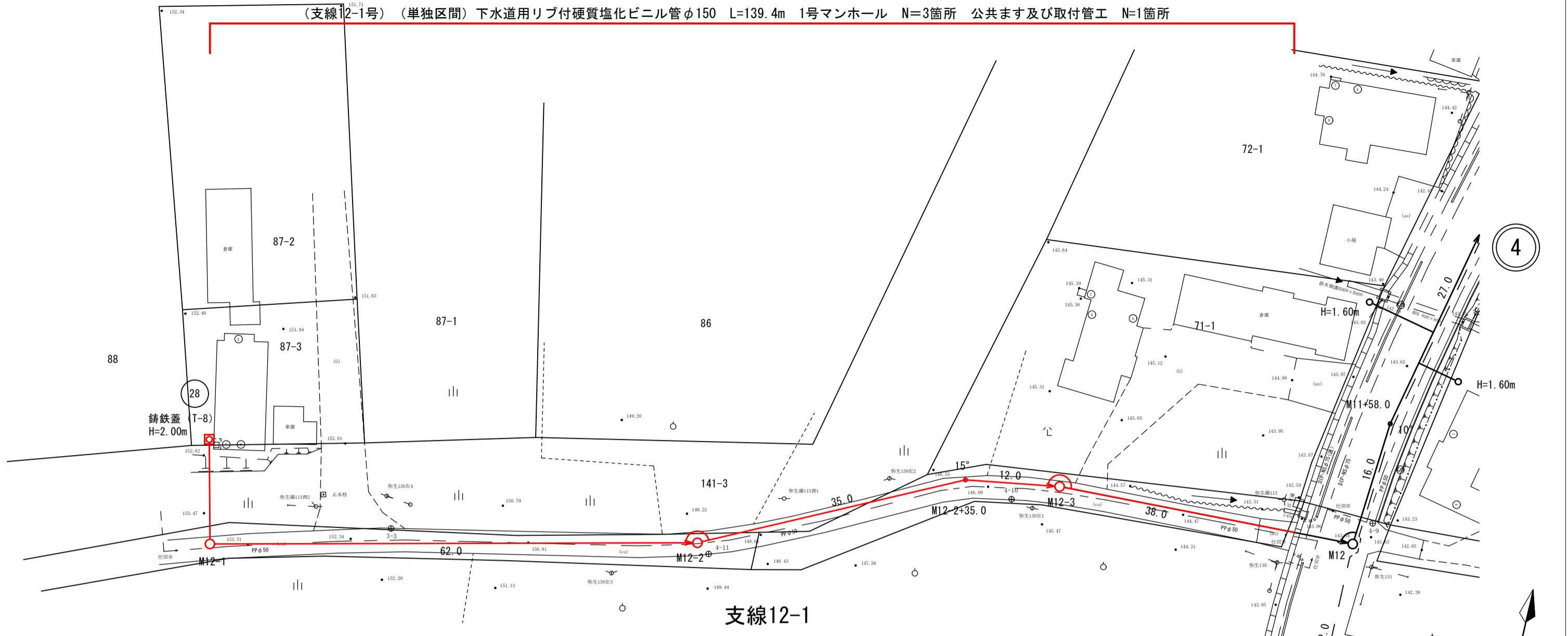
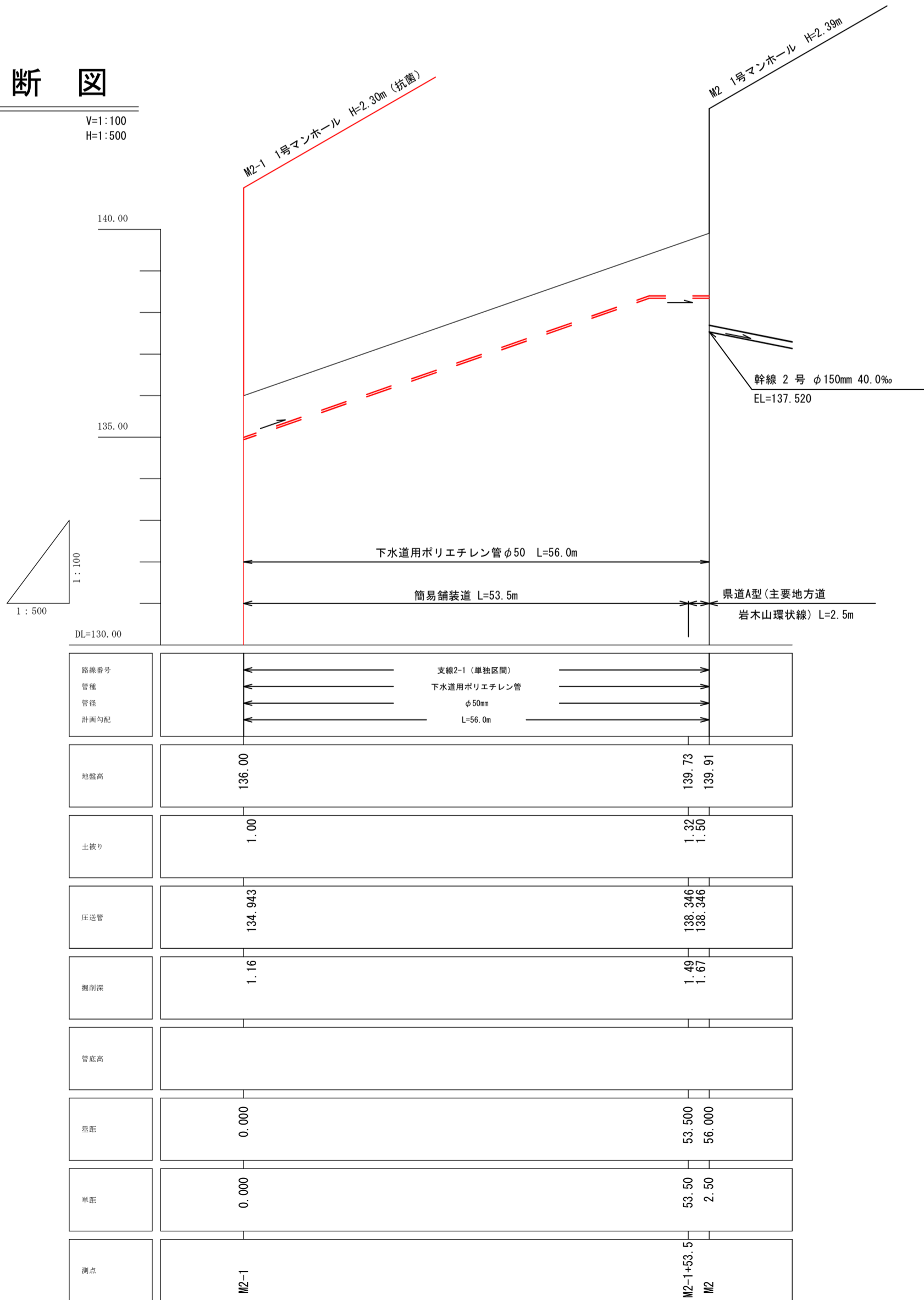
S=1:500



縦断面図

V=1:100

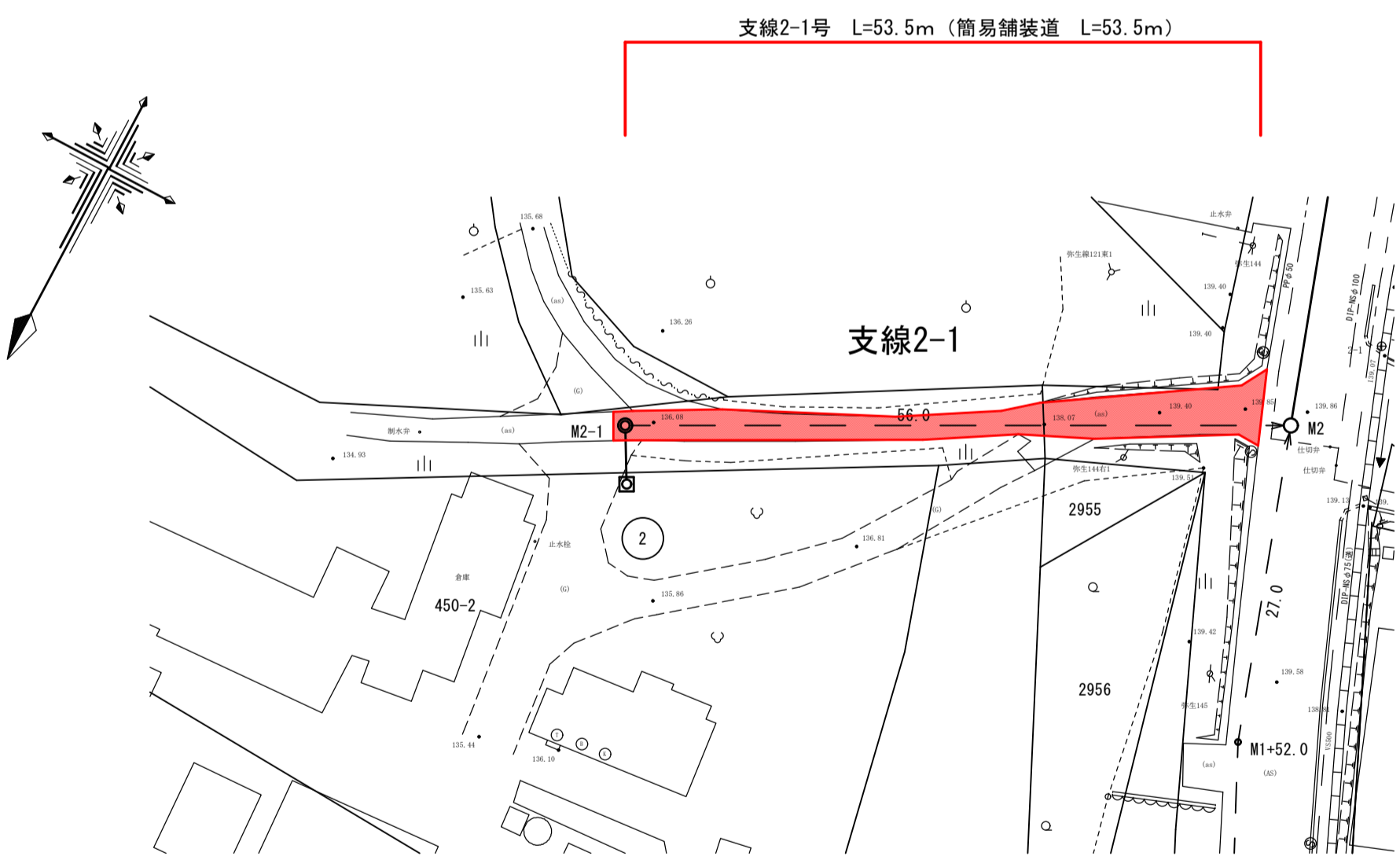
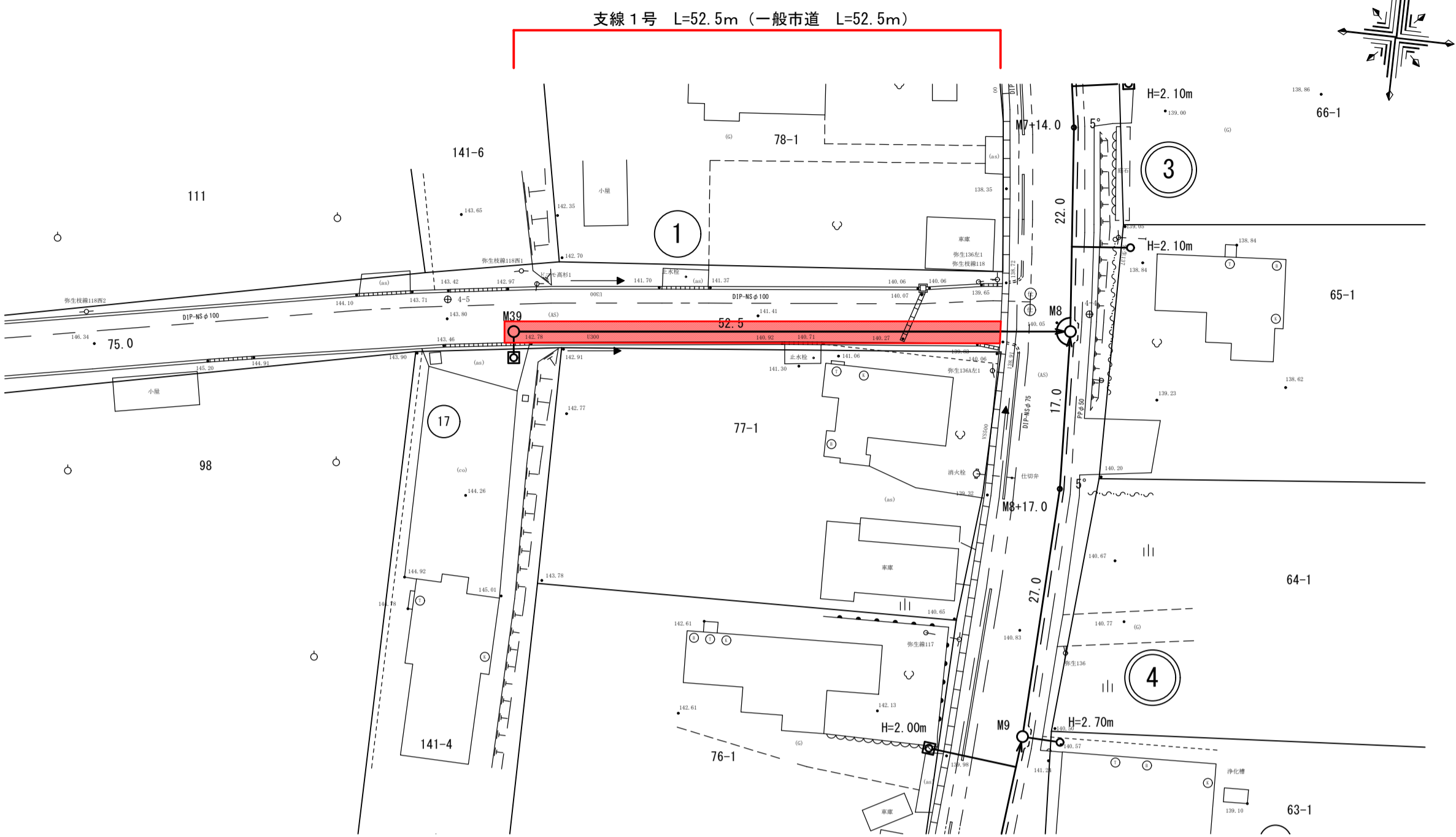
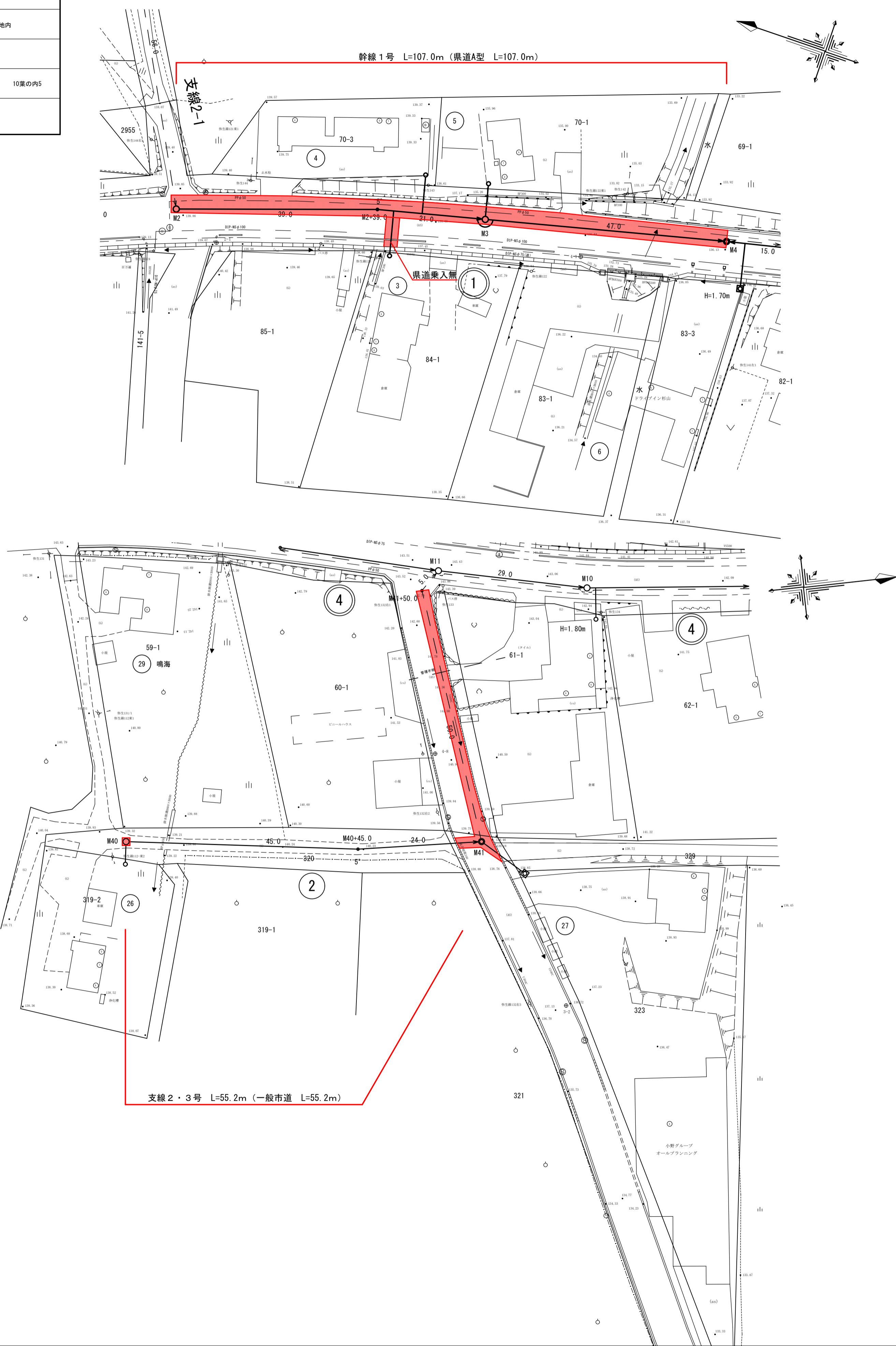
H=1:500



年度	平成30年度		
工事番号	平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 百沢字東岩木山 地内		
図面名称	舗装復旧図		
縮尺	各国記入	図面番号	10葉の内5
弘前市上下水道部			

平面図

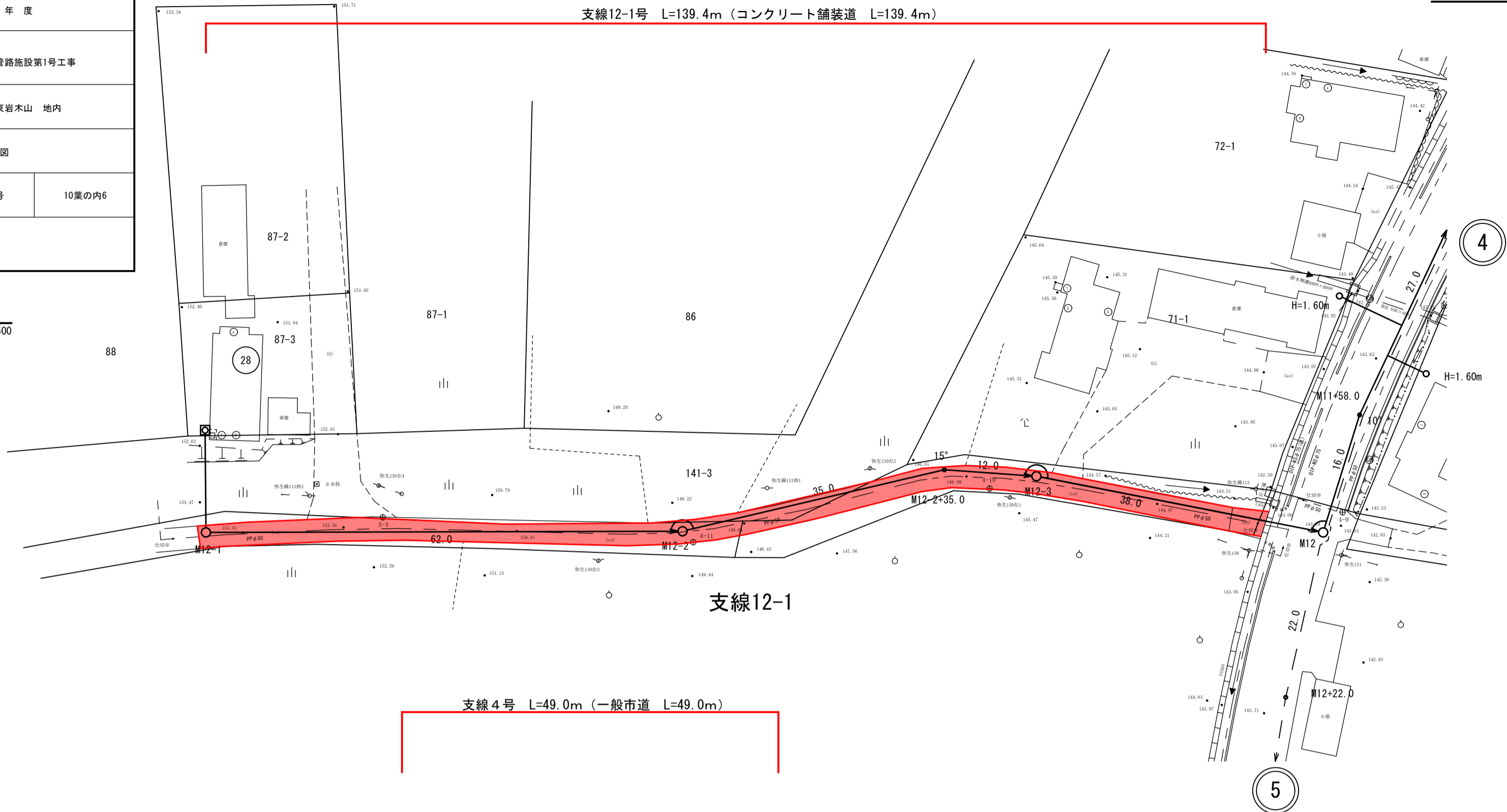
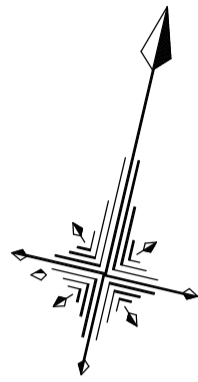
S=1:500



年度	平成30年度		
工事番号	平成30年度 弥生地区管施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 百沢字東岩木山 地内		
図面名称	舗装復旧図		
縮尺	各図記入	図面番号	10葉の内6
弘前市上下水道部			

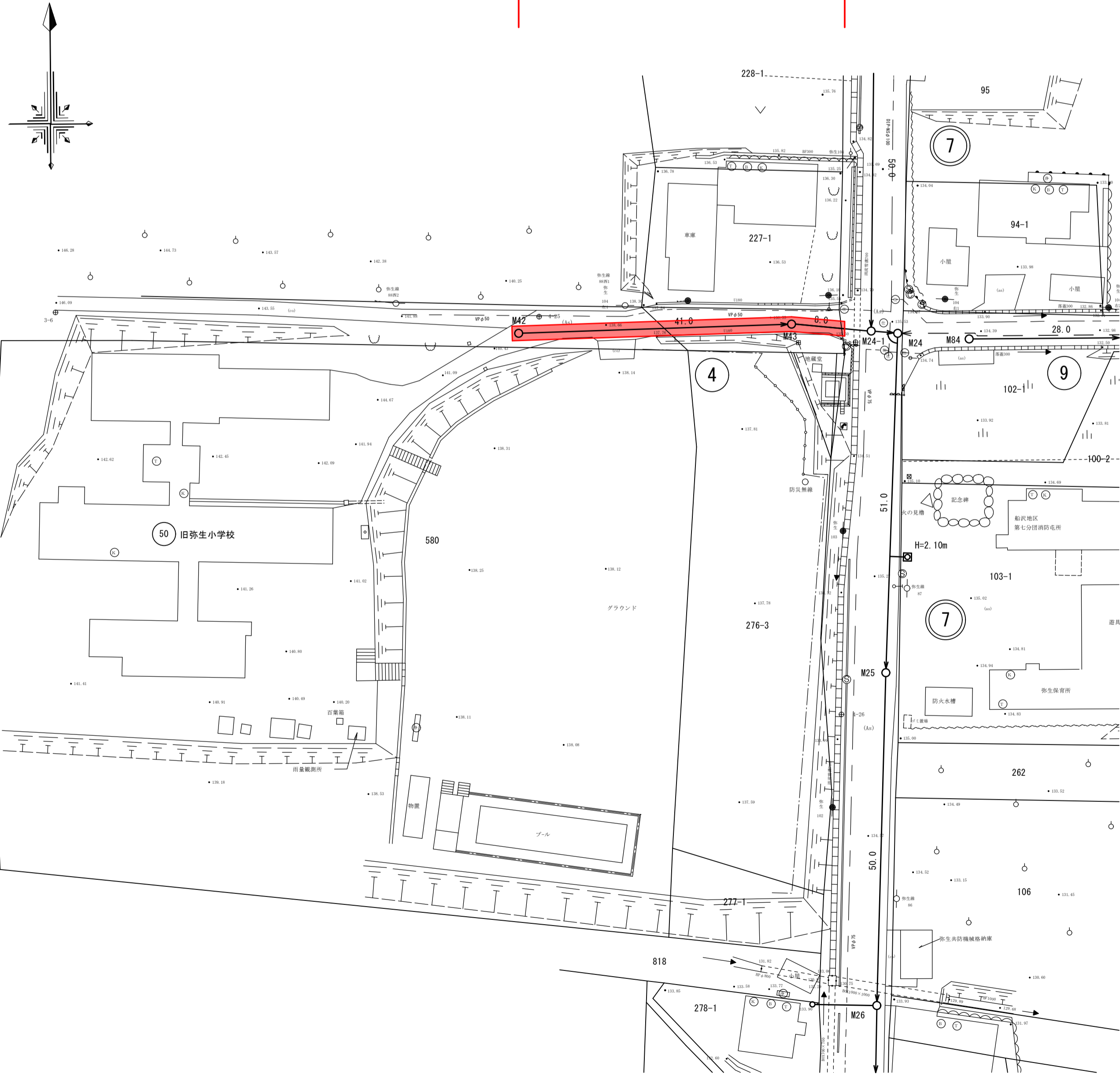
平面図

S=1:500

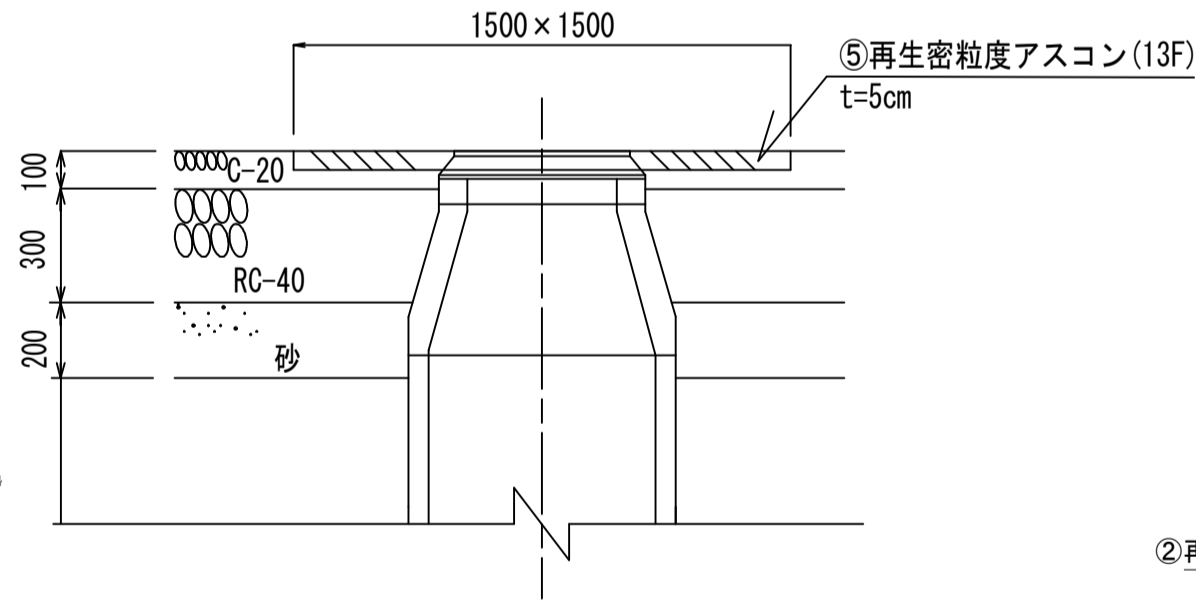


支線12-1

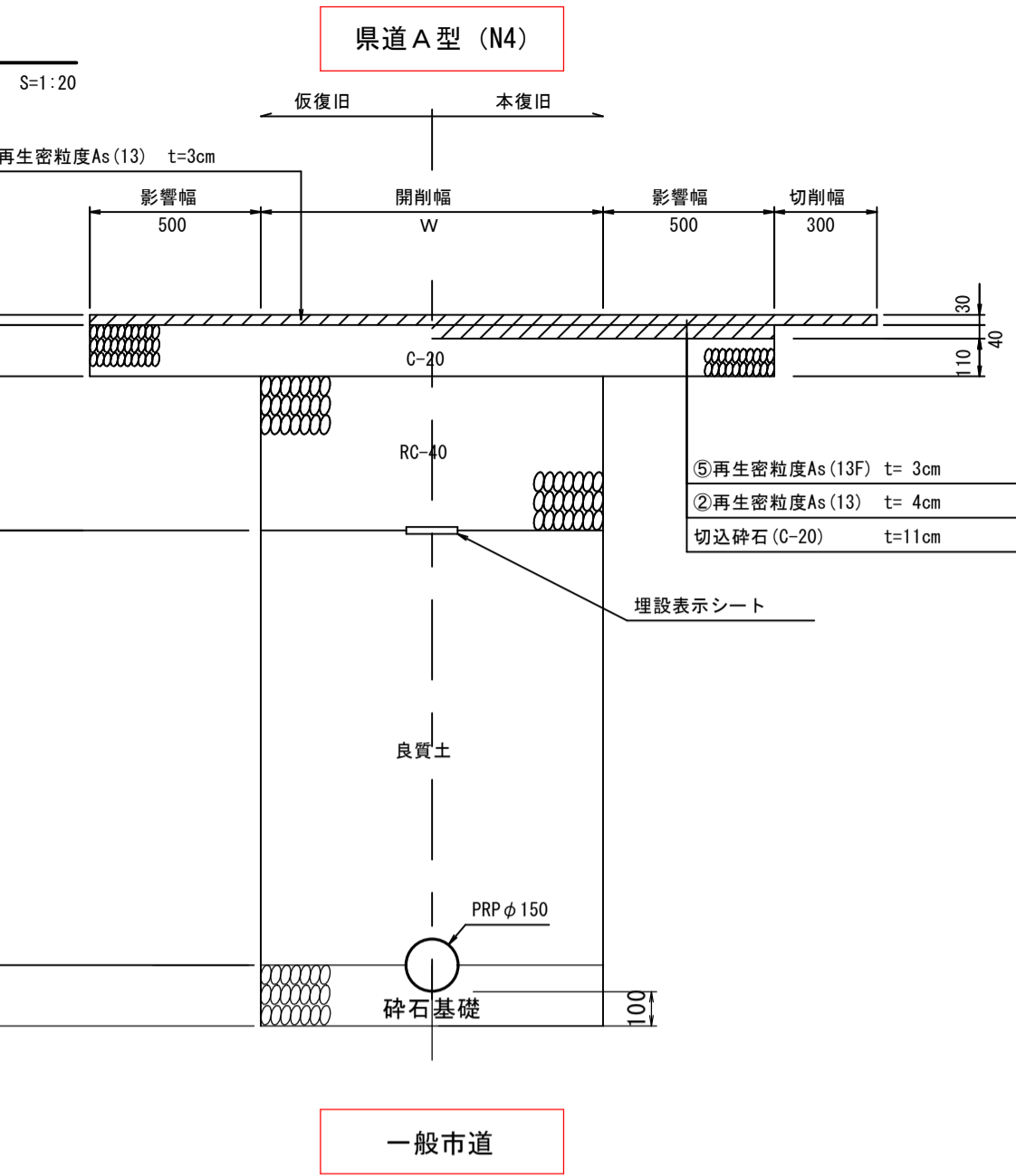
支線4号 L=49.0m (一般市道 L=49.0m)



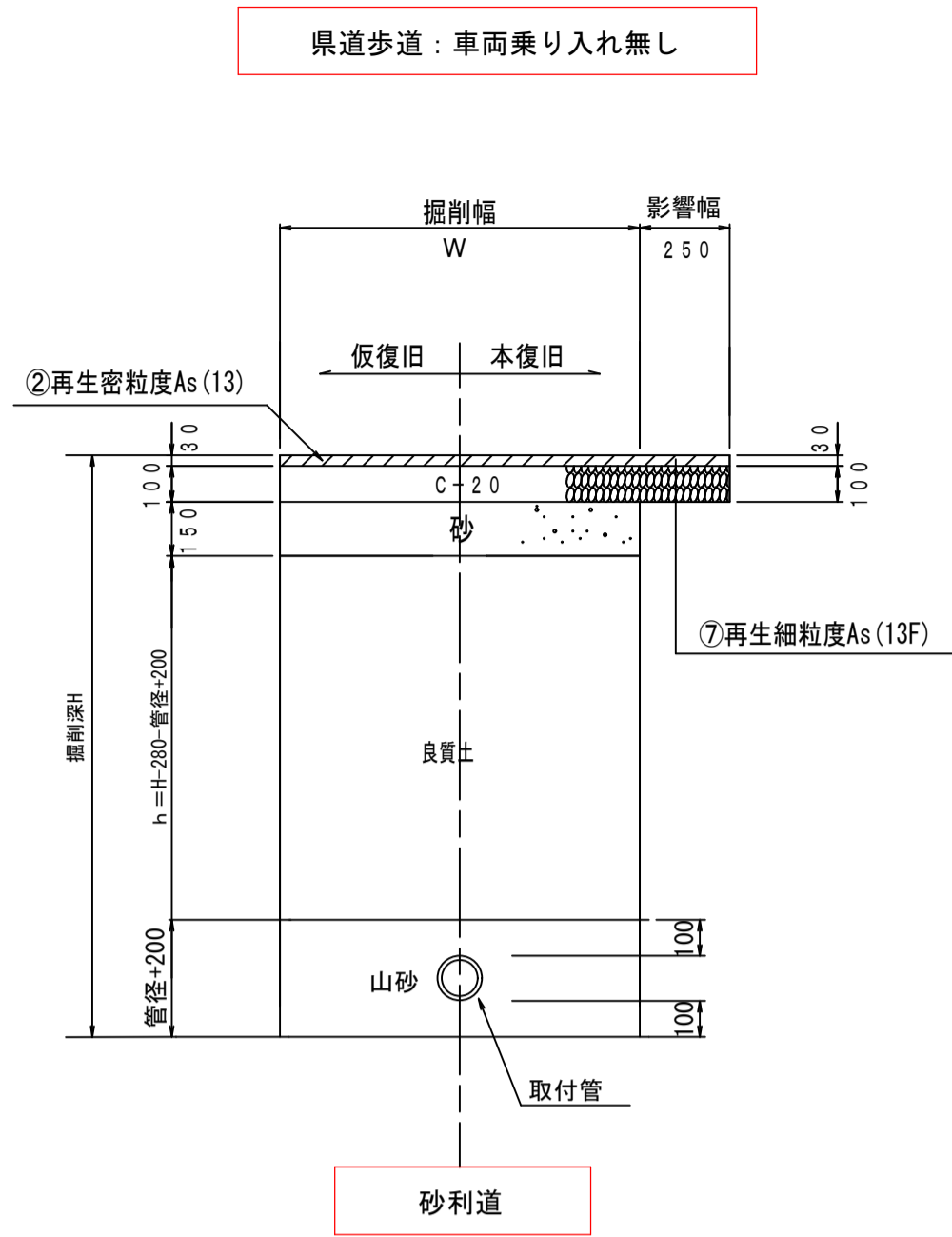
砂利道入孔巻立舗装部



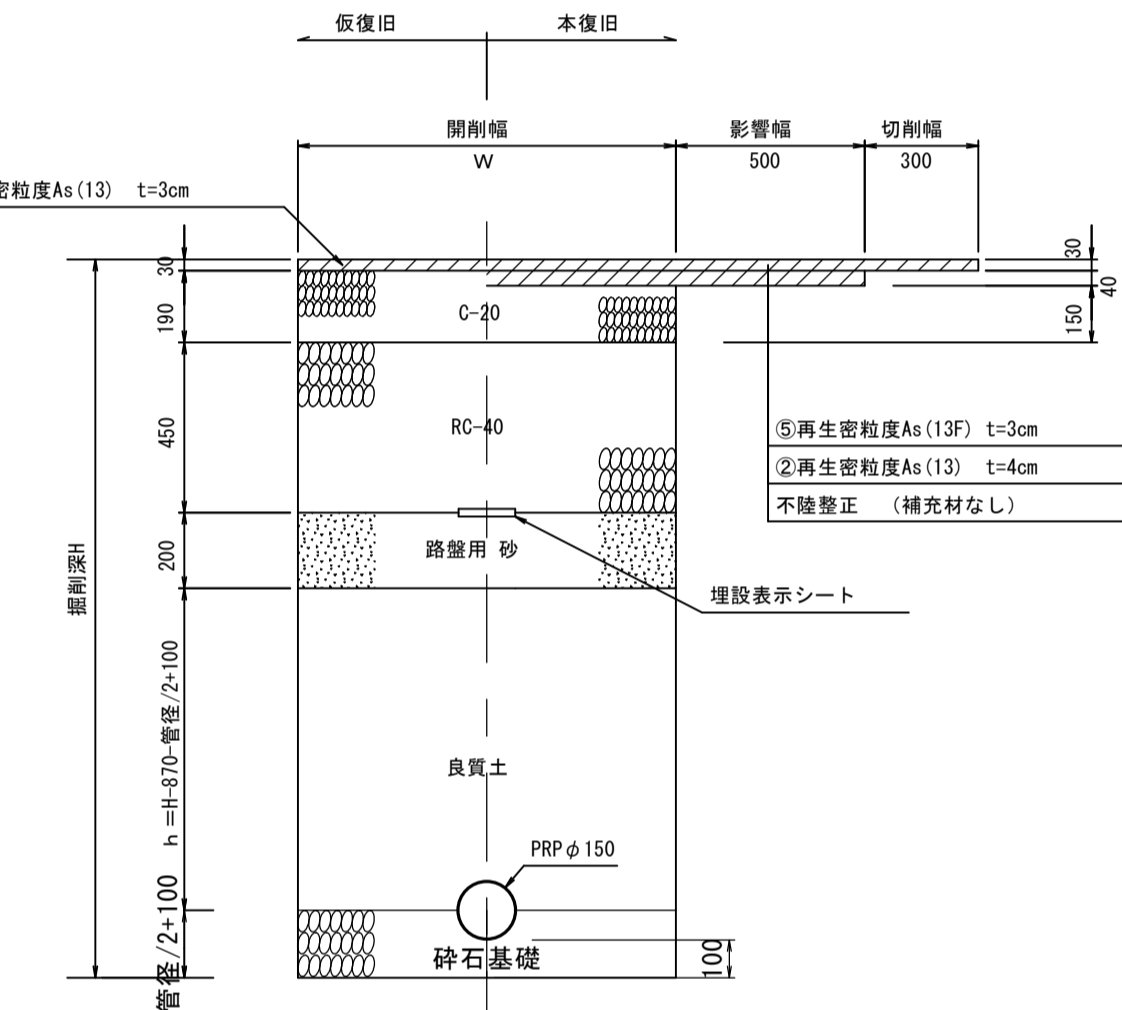
舗装復旧図



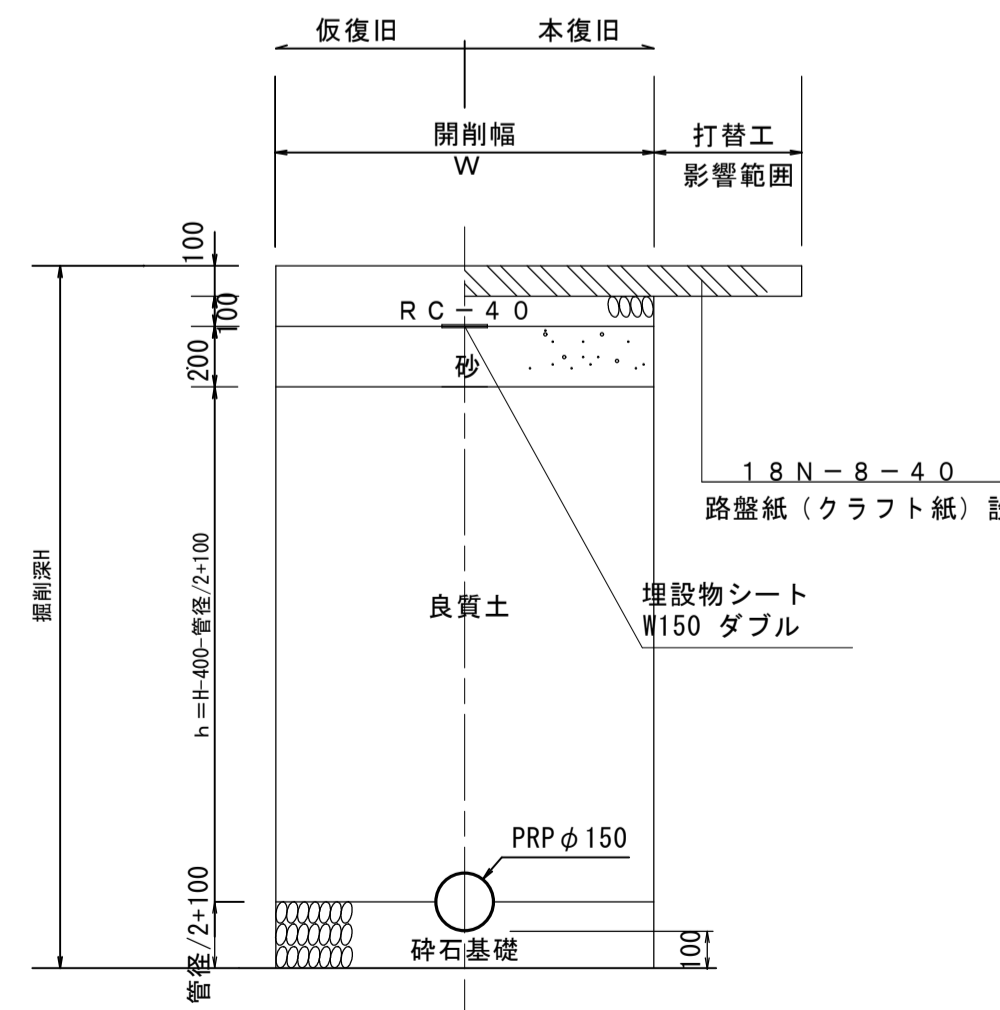
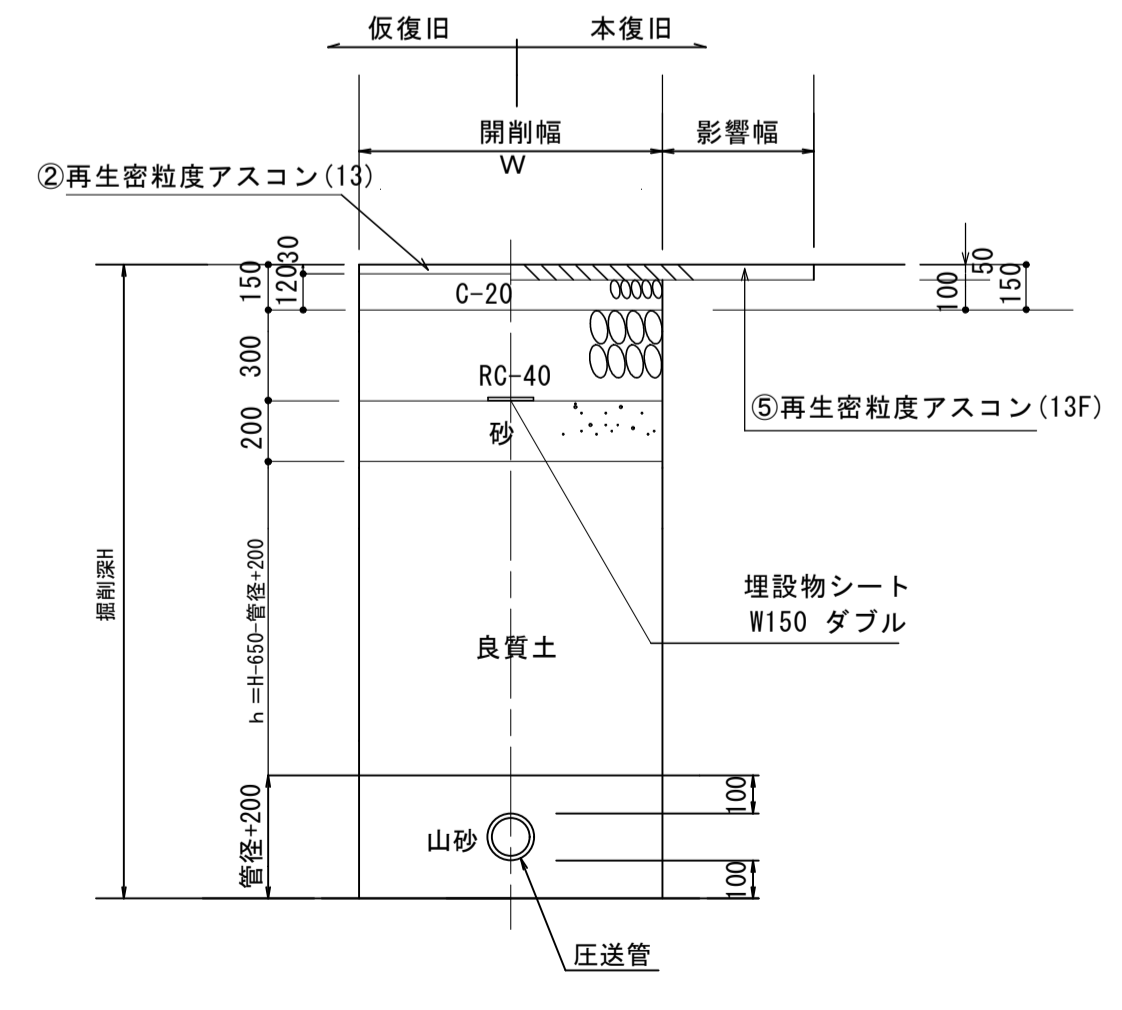
一般市道



砂利道



簡易舗装道



コンクリート舗装復旧

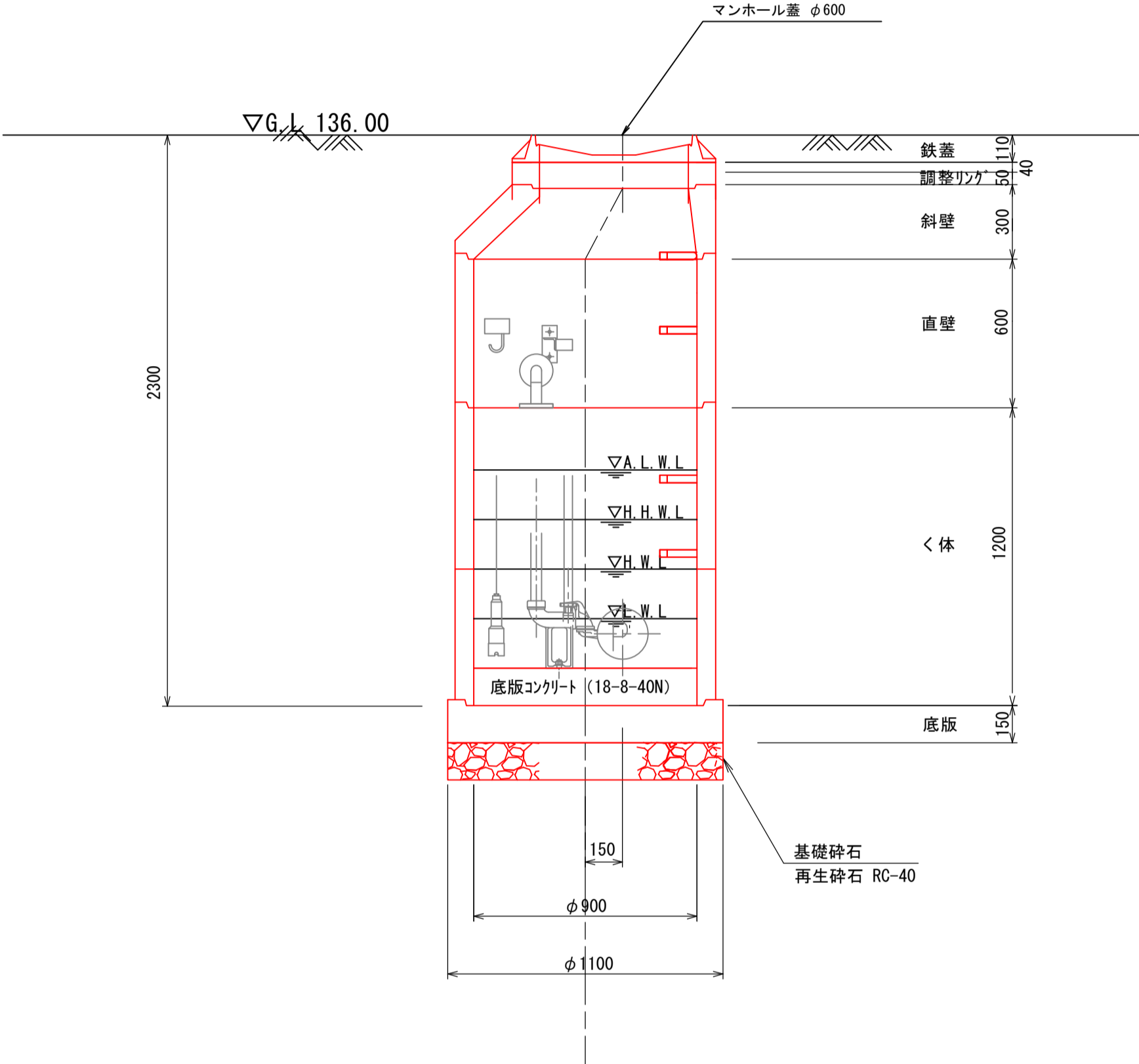
年 度	平成30年度		
工 事 番 号	平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施 工 箇 所	弘前市大字 百沢字東岩木山 地内		
図 面 名 称	マンホールポンプ構造図(M2-1)		
縮 尺	各図記入	図 面 番 号	10葉の内8
弘 前 市 上 下 水 道 部			

路線番号 支線 ②-1

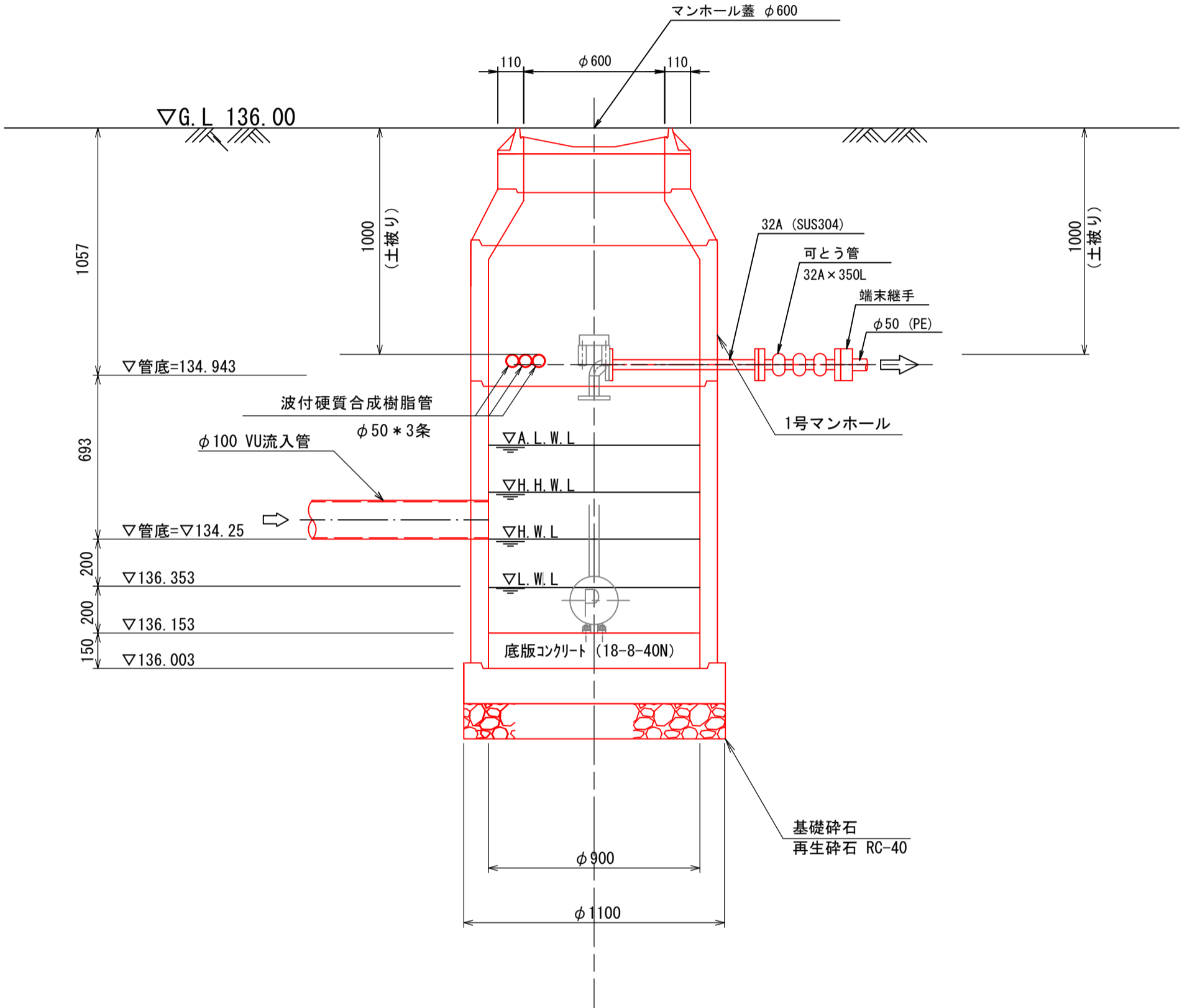
マンホールポンプ構造図(M2-1)

※ ポンプ設備は別途工事

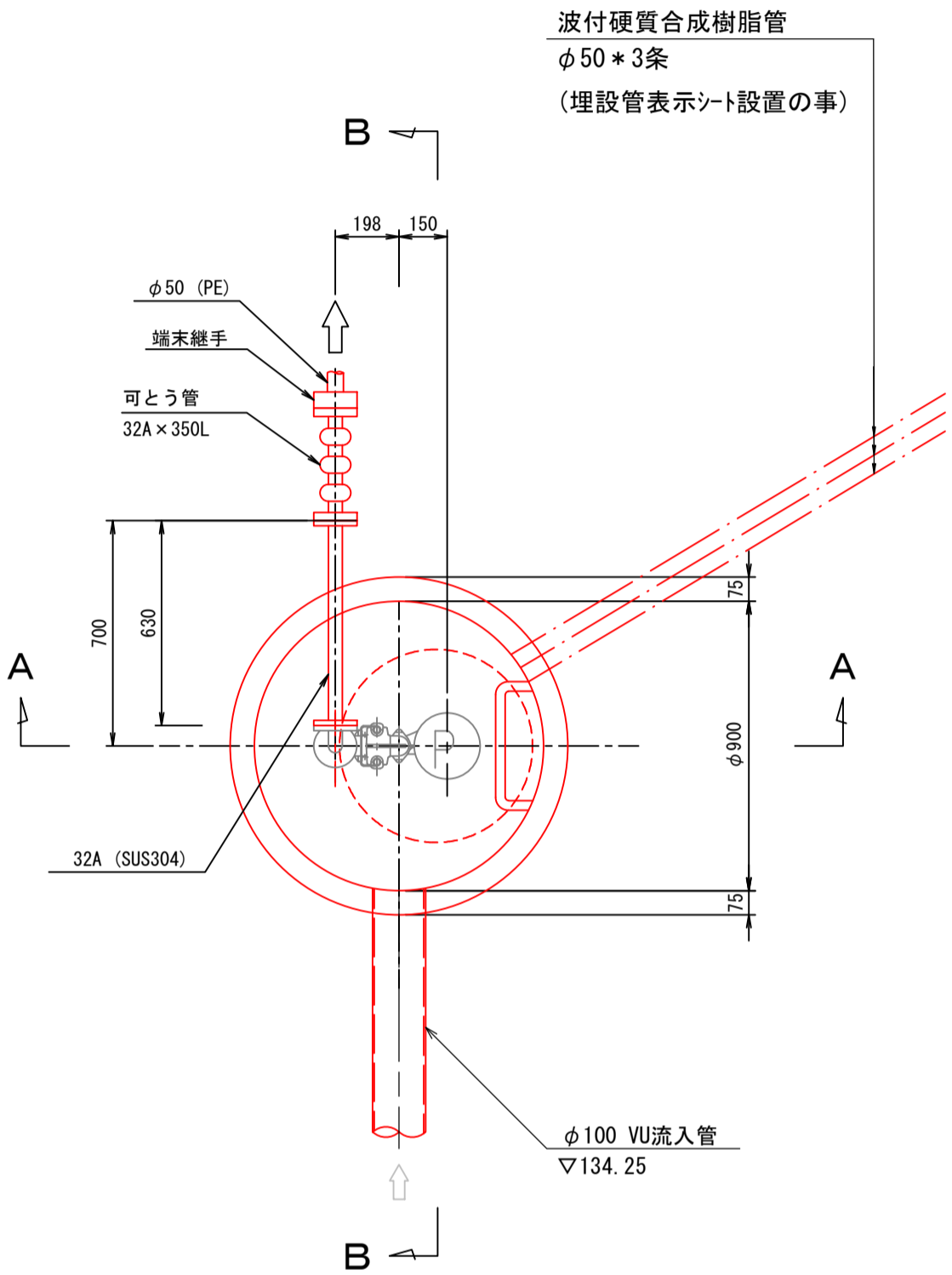
A-A断面図 S=1:20



B-B断面図 S=1:20



平 面 図 S=1:20



*ステップはポンプの管理上、図示の箇所に設ける事。
*本管接続部には可とう継手(塩ビ管用)を設置する事。

年度	平成 30 年 度		
工事番号	平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 百沢字裏越木山 地内		
図面名称	土留め工施工標準図		
縮尺	各国記入	図面番号	10葉の内9
弘前市上下水道部			

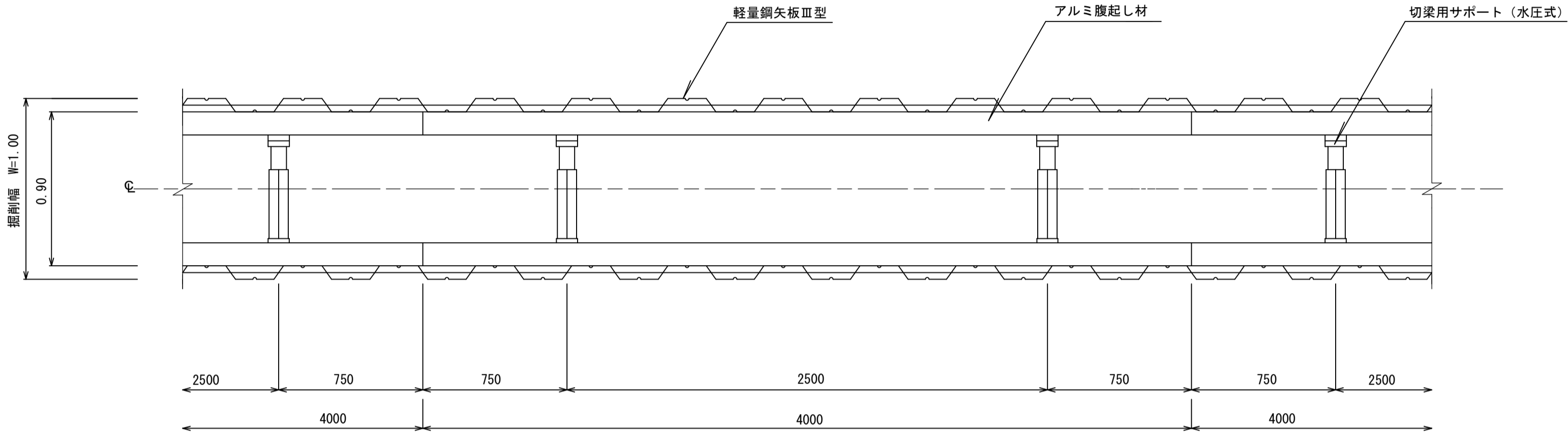
土留め工施工標準図

S=Non. Scale

(本管土留め工)

軽量鋼矢板建込み工施工図

平面図



軽量鋼矢板土留工の掘削幅（cm）

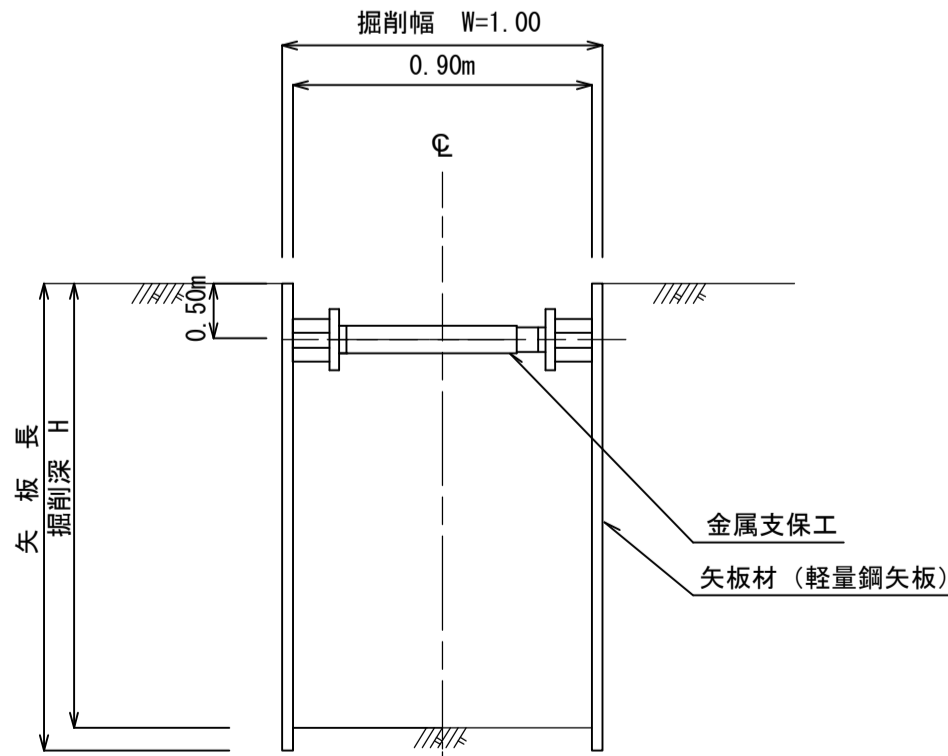
掘削深（m）	土留材の厚さ	管径φ250m/mまで作業幅W	掘削幅W
1.51～3.80	5.5	90	100

軽量鋼矢板建込み工規格表

掘削深（m）	支保工段数	鋼矢板型	矢板長（m）	管径別の掘削幅（cm） φ250m/mまで
1.51～1.80	1	ⅢⅠ型	2.00	100
1.81～2.00	1	ⅢⅠ型	2.50	100
2.01～2.30	2	ⅢⅠ型	2.50	100
2.31～2.50	2	ⅢⅠ型	3.00	100
2.51～2.80	2	ⅢⅠ型	3.00	100
2.81～3.00	2	ⅢⅠ型	3.50	100
3.01～3.30	2	ⅢⅠ型	3.50	100
3.31～3.50	2	ⅢⅠ型	4.00	100
3.51～3.80	3	ⅢⅠ型	4.00	100

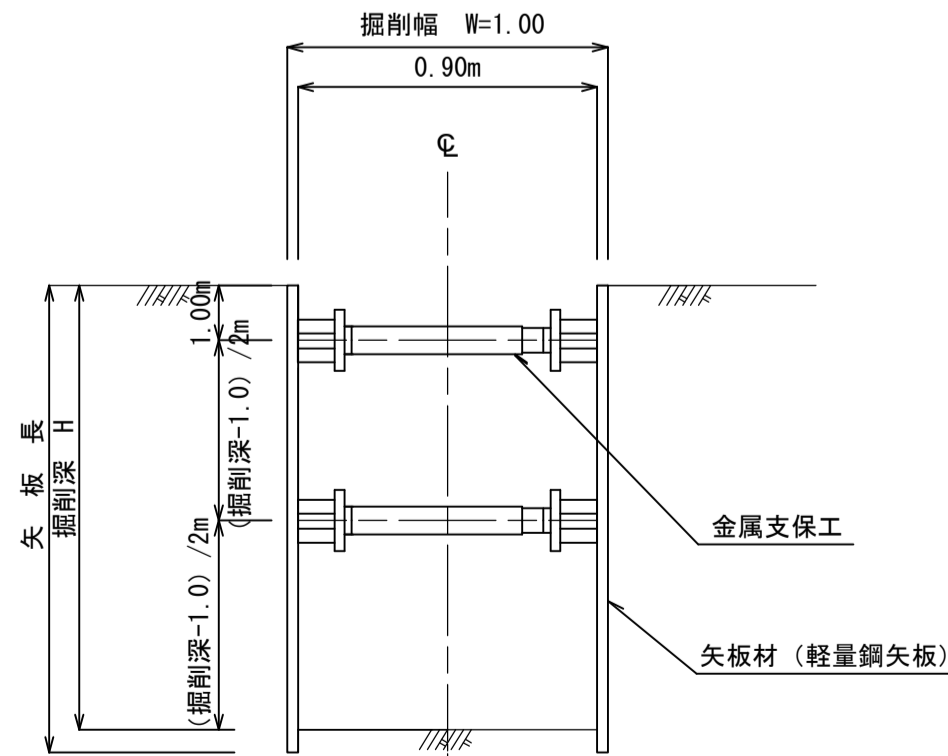
1段支保工の場合

断面図



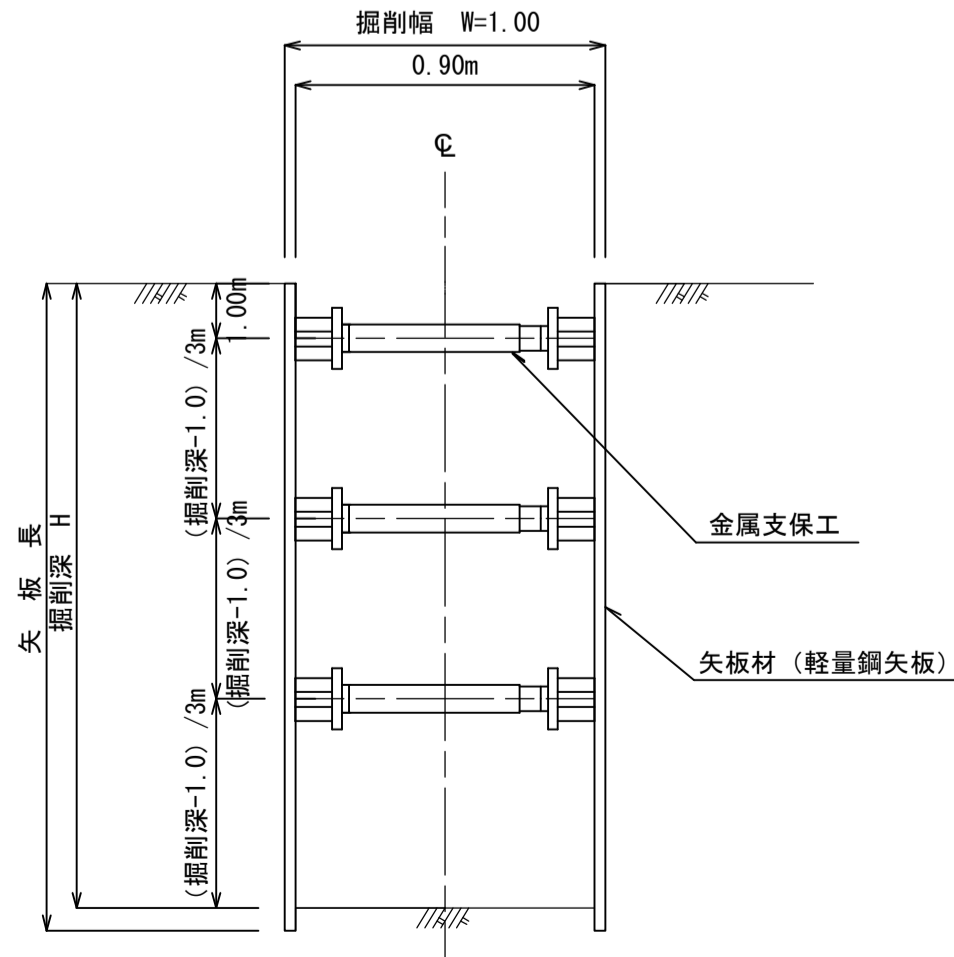
2段支保工の場合

断面図



3段支保工の場合

断面図

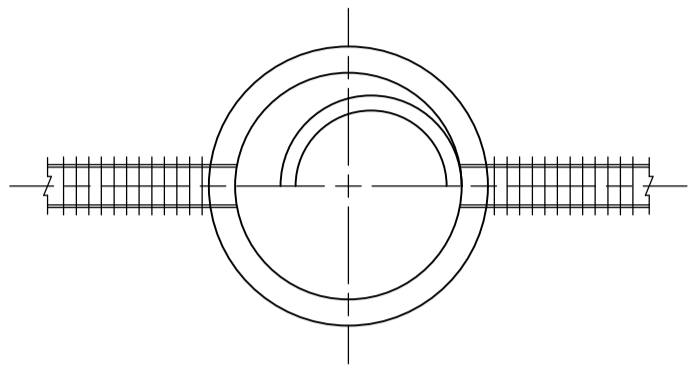


年度	平成 30 年 度		
工事番号	平成30年度 弥生地区管路施設第1号工事		
施工箇所	弘前市大字 百沢字東結木山 地内		
図面名称	標準構造図		
縮尺	各国記入	図面番号	10葉の内10
弘前市上下水道部			

組立マンホール標準構造図

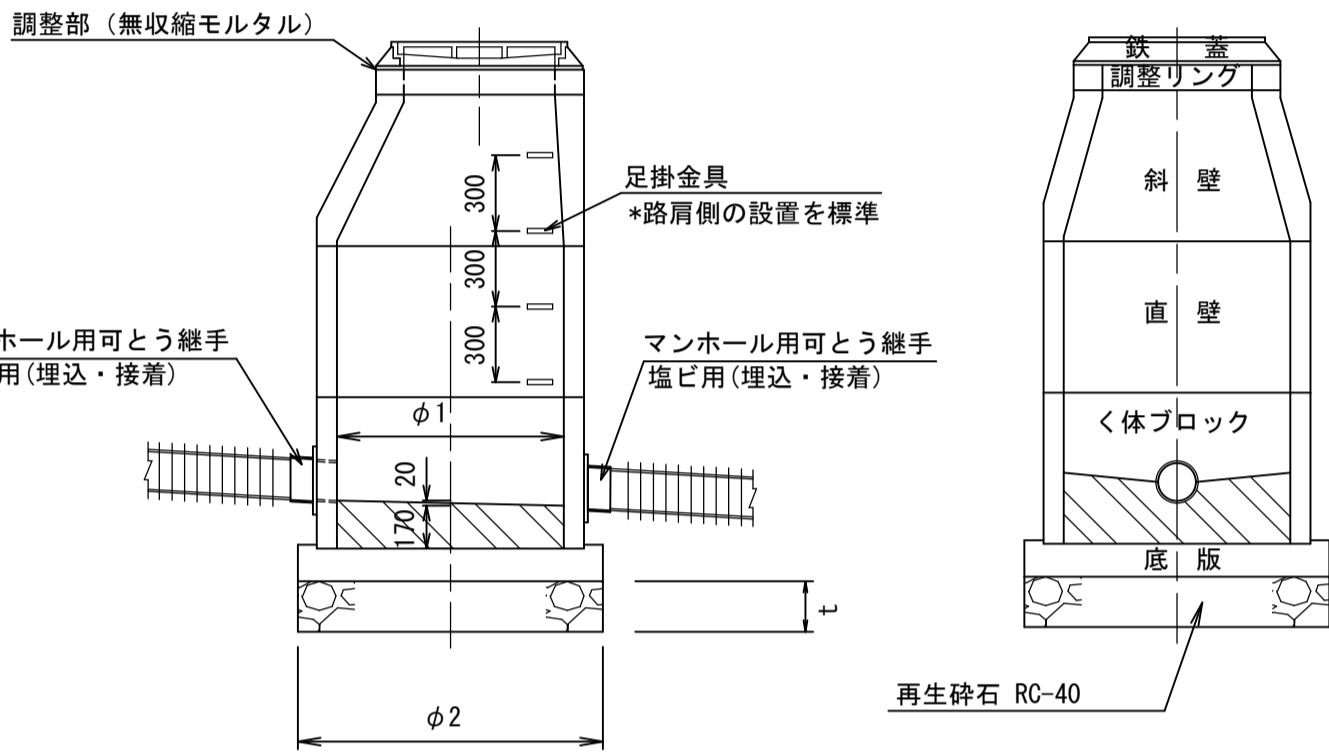
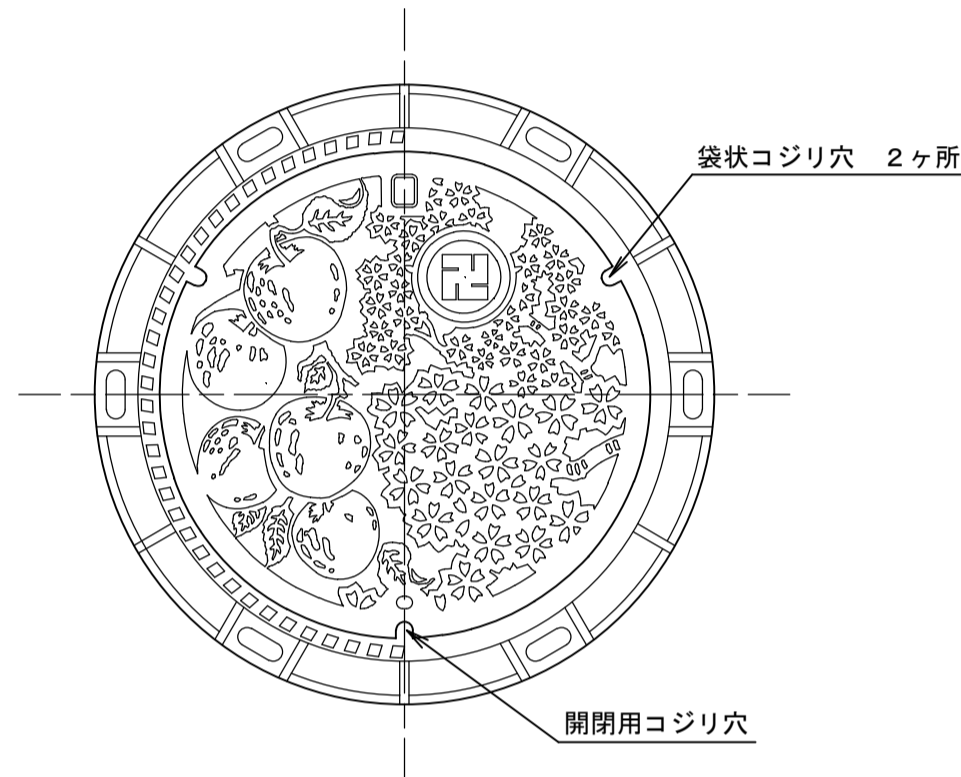
S=1:30

標準型



鉄蓋標準構造図（参考）

S=1:10



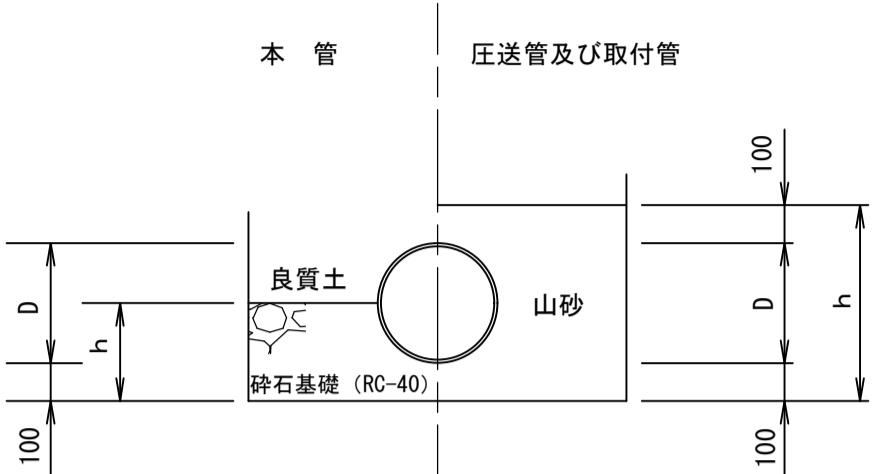
寸法表

(単位：mm)

	マンホール 内径	基礎碎石	
マンホール 1号	φ1	φ2	t
	900	1100	200

管基礎工標準図

S=1:20



寸法表

(単位：mm)

本 管	リブ付硬質塩化ビニル管	
呼び径	D	h
150	170	185

(単位：mm)

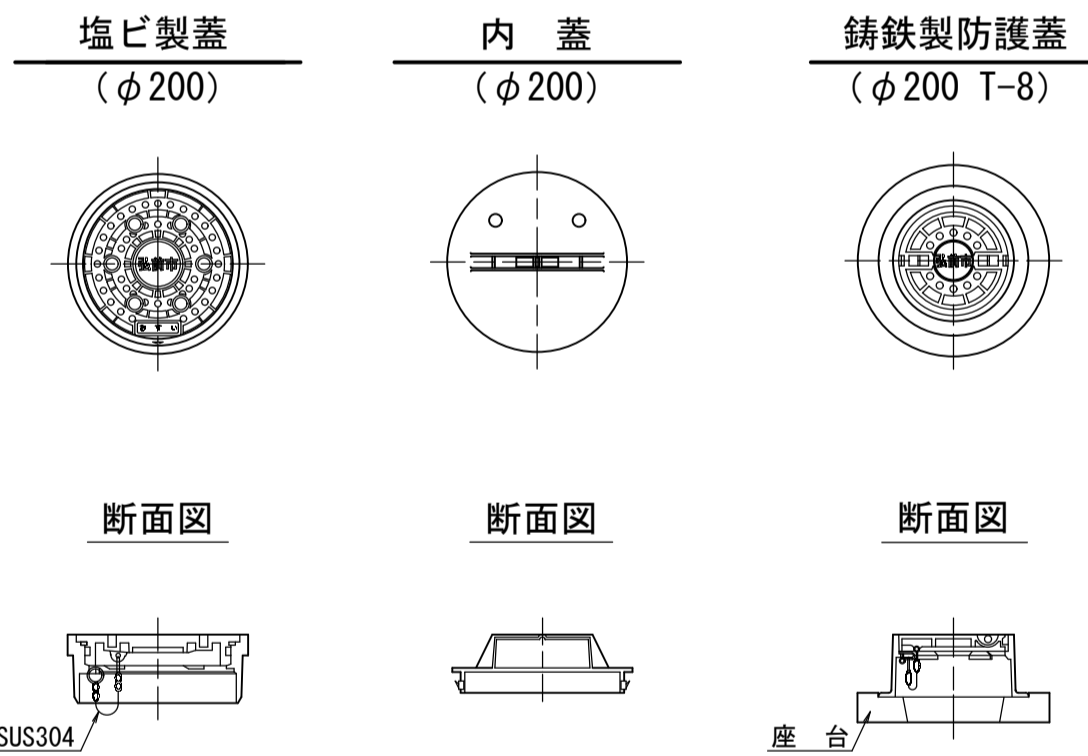
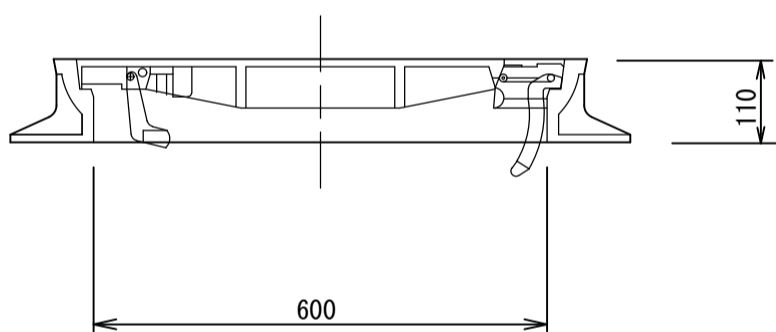
取付管	硬質塩化ビニル管	
呼び径	D	h
100	114	314

(単位：mm)

本 管	ポリエチレン管	
呼び径	D	h
50	63	263

掃除口・防護蓋標準構造図（参考）

S=Non. Scale

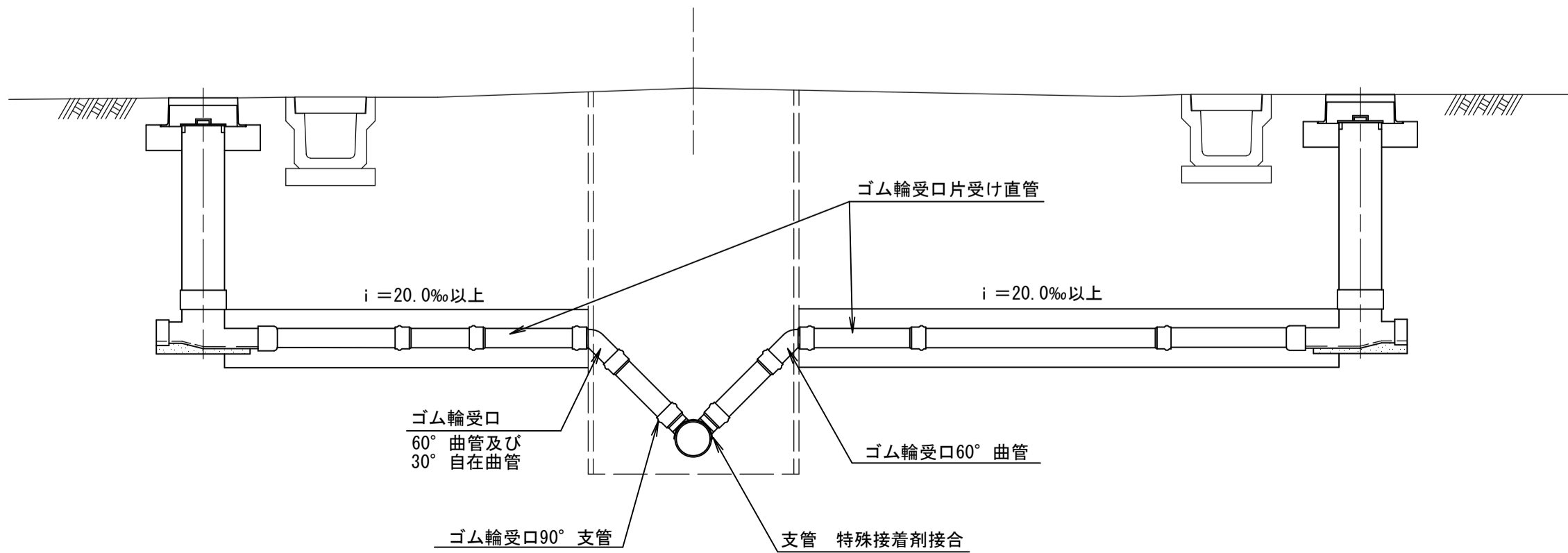


塩ビ樹脂設置基準			
塩ビ樹脂寸法	使用樹脂	砂基礎寸法	インパート形状
φ200mm	汚水樹脂深 1.0≦H	550×550×50	横型ストレートS（取付管φ100、流入管φ100）

- ◎ 塩ビ製底塊は、ゴム輪受口形・宅内側キャップ付・段差付で球面形状のインパートを使用。
- ◎ 塩ビ製蓋はフンタッチ式の鎖付を使用。
- ◎ 構造図の各種寸法は、協会最小寸法とする。

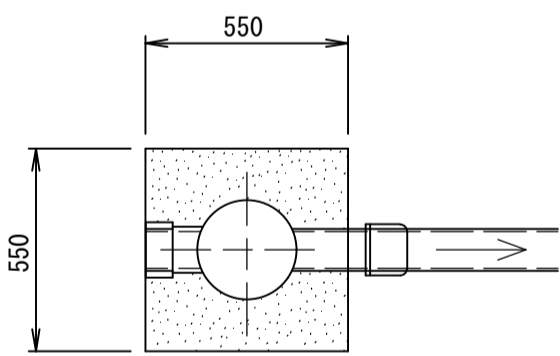
断面図

S=Non. Scale



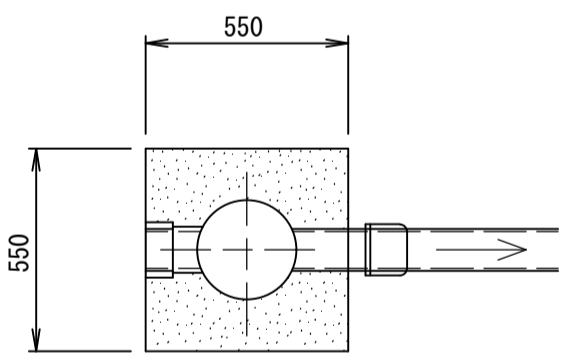
一般部分

平面図

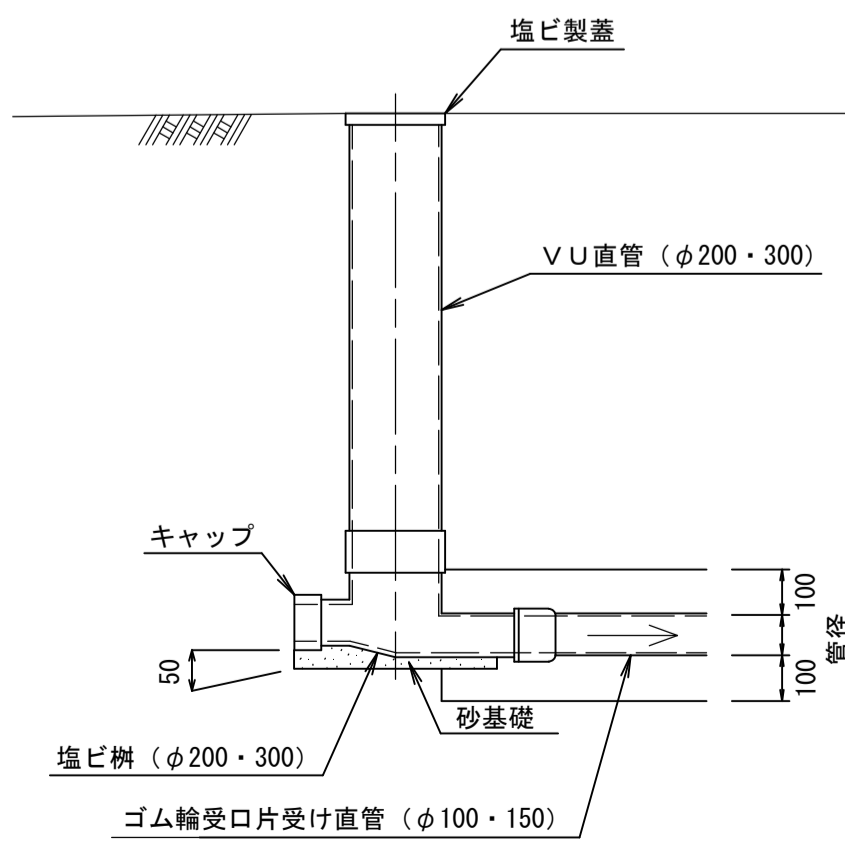


駐車場部分

平面図



断面図



断面図

